

研究雜誌所收

『教行信証』

關係論文目錄

藤  
嶽  
明  
信  
編





## 凡 例

一、本目録は、研究雑誌に掲載された『教行信証』に関する論文を、(A) 発表年月日順、(B) 掲載雑誌別に収録したものである。

一、収録に際しては、『教行信証』等の総名・「教巻」等の巻名・「総序」等の序に関する名が、論題または副題に表記されているものに限定了。その用例は左記のごとくである。

### ※総名

- 。顕浄土真実教行証文類
- 。教行信証
- 。教行証
- 。御本典（本典）・御本書
- 。広本・広典・（広）
- 。坂東本など

### ※巻名

- 。顕浄土真実教文類など
- 。教文類など
- 。教巻など

### ※序に関するもの

- 。総序など

一、収録期間は、明治三十年より昭和五十七年三月末日までである。

◎本目録の作成に際しては、『仏教学関係雑誌文献総覧』（国書刊行会編）・『仏教学関係雑誌論文分類目録』（龍谷大学編）・「親鸞文献目録」（名畑崇編、雑誌『理想』No. 569 所収、理想社）等を参照した。

◎本目録は、篠原恵信・渡辺智洋・河野秀典・佐藤智行各氏の協力によって作成した。

## (A) 発表年月日順一覧表

	掲 載 年 月 日	著 者 名	論 文 名	雑 誌 名	巻数(号数)
1	一八九七 明治30・8・21	東陽圓月	本典大綱会録	伝道新誌	10巻8号
2	一八九八 明治31・2・15	(鷗浦)	教行信証に於ける親鸞聖人	無尽灯	3巻2号
3	一八九八 明治31・2・23	東山半逸含潤 (前田慧雲)	化土卷所引末法灯明記中般若会釈之事	三寶叢誌	167号
4	一九〇三 明治36・12・1	中川恵亮	「教行信証文類」に「法華経」を引証し給はざる所以(質疑解答)	無尽灯	8巻12号
5	一九〇六 明治39・2・1	波多教英	本典研究余滴	六条学報	52号
6	一九〇六 明治39・4・1	波多教英	本典研究余滴	六条学報	54号
7	一九〇六 明治39・6・1	波多教英	本典の研究	六条学報	56号
8	一九一〇 明治43・5・1	羊歩生 (禿氏羊歩)	教行信証延書に就て	六条学報	103号
9	一九一一 明治44・4・1	中井玄道	教行信証校訂改刻批議	六条学報	114号
10	一九一一 明治44・7・1	鷲尾教導	「教行信証」伝授史考	六条学報	117号
11	一九一二 明治45・2・1	正福幻堂	教行信証校訂私考一	六条学報	124号
12	一九一二 明治45・3・1	正福幻堂	教行信証校訂私考二	六条学報	125号
13	一九一二 明治45・5・1	正福幻堂	教行信証校訂私考三	六条学報	127号
14	一九一二 明治45・6・1	正福幻堂	教行信証校訂私考四	六条学報	128号

	掲載年月日	著者名	論 文 名	雑誌名	巻数(号数)
15	一九二二 明治45・7・1	正福幻堂	教行信証校訂私考五	六条学報	129号
16	一九二二 明治45・8・1	正福幻堂	教行信証校訂私考六	六条学報	130号
17	一九二二 大正1・10・15	正福幻堂	教行信証校訂私考七	六条学報	132号
18	一九二二 大正1・11・5	正福幻堂	教行信証校訂私考八	六条学報	133号
19	一九二二 大正1・12・10	鷲尾教導	「教行信証文類」刊本沿革考	六条学報	134号
20	一九二二 大正1・12・10	正福幻堂	教行信証校訂私考九	六条学報	134号
21	一九二三 大正2・1・1	正福幻堂	教行信証校訂私考十	六条学報	135号
22	一九二三 大正2・1・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十一	六条学報	136号
23	一九二三 大正2・3・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十二	六条学報	137号
24	一九二三 大正2・4・5	住田智見	寛永丙子本の「教行信証」に就いて	無尽灯	18巻4号
25	一九二三 大正2・4・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十三	六条学報	138号
26	一九二三 大正2・5・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十四	六条学報	139号
27	一九二三 大正2・5・10	鷲尾教導	安芸本本典開版者悟澄小伝	六条学報	139号
28	一九二三 大正2・6・5	鷲尾教導	大谷派本山「教行信証」「同会本」開版起原	無尽灯	18巻6号
29	一九二三 大正2・6・5	住田智見	寛永本「信巻」の奥書に就いての正誤及び補遺	無尽灯	18巻6号
30	一九二三 大正2・6・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十五	六条学報	140号
31	一九二三 大正2・7・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十六	六条学報	141号
32	一九二三 大正2・9・5	(無記名)	「教行信証講義」の読者に	無尽灯	18巻9号
33	一九二三 大正2・12・20	鷲尾教導	「教行証文類」及「同延書本」古写本伝考	六条学報	146号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
34	一九一四 大正3・3・25	正福幻堂	教行信証校訂私考十七	六条学報	149号
35	一九一四 大正3・4・17	正福幻堂	教行信証校訂私考十八	六条学報	150号
36	一九一四 大正3・4・20	稲葉圓成	教行信証之研究「教行信証」撰述と其時代の教界	無尽灯	19巻4号
37	一九一四 大正3・4・20	佐々木月樵	教行信証之研究「浄土教史上に於ける「教行信証」の位置	無尽灯	19巻4号
38	一九一四 大正3・4・20	山田文昭	教行信証之研究「教行信証」の御草本に就て	無尽灯	19巻4号
39	一九一四 大正3・4・20	住田智見	教行信証之研究「教行信証」拝読の沿革及び研究の用意に就いて	無尽灯	19巻4号
40	一九一四 大正3・4・20	金子大栄	教行信証之研究「教行信証」の研究	無尽灯	19巻4号
41	一九一四 大正3・4・20	磯部教誓	教行信証之研究「教行信証」に引かれたる諸経について	無尽灯	19巻4号
42	一九一四 大正3・4・20	和賀寛亮	教行信証之研究「教行信証」と天親、曇鸞	無尽灯	19巻4号
43	一九一四 大正3・4・20	可西大秀	教行信証之研究「教行信証」と導緯、善導	無尽灯	19巻4号
44	一九一四 大正3・4・20	河辺慶縁	教行信証之研究「教行信証」と恵信僧都	無尽灯	19巻4号
45	一九一四 大正3・4・20	大伴徳二	教行信証之研究「教行信証」と法然上人	無尽灯	19巻4号
46	一九一四 大正3・4・20	菅原法嶺	教行信証之研究「教行信証」と引用されたる諸師に就て	無尽灯	19巻4号
47	一九一四 大正3・4・20	山上正尊	教行信証之研究「教行信証」と源空門下の一念義	無尽灯	19巻4号
48	一九一四 大正3・4・20	長谷法薫	教行信証之研究「教行信証」と存覚上人	無尽灯	19巻4号
49	一九一四 大正3・4・20	広瀬南雄	教行信証之研究「教行信証」と蓮如上人	無尽灯	19巻4号
50	一九一四 大正3・4・20	山辺習学	教行信証之研究「教行信証」研究の方針	無尽灯	19巻4号
51	一九一四 大正3・5・22	鷲尾教導	親鸞聖人引用の「末法灯明記」に就て(冠頭写真版参考)	六条学報	151号
52	一九一五 大正4・1・10	清原秀恵	高祖は何故に「本典」中「法華経」を引用したまはざりしか	六条学報	159号

	掲載年月日	著者名	論 文 名	雑誌名	巻数(号数)
53	一九一五 大正4・1・10	暁鳥敏	「教行信証」の研究	精神界	15巻1号
54	一九一五 大正4・2・10	清原秀恵	高祖は何故に「本典」中「法華經」を引用したまはざりしか(承前)	六条学報	160号
55	一九一五 大正4・8・10	中井玄道	天保以後の教行信証刻本に就きて	六条学報	166号
56	一九一五 大正4・11・1	山田文昭	晩年に於ける親鸞聖人の半面 (寛永版教行信証奥書私考)	無尽灯	20巻11号
57	一九一五 大正4・11・10	(著者名ナシ)	本国に帰れ 『教行信証』本文より	精神界	15巻10号
58	一九一六 大正5・4・1	山脇馨	顕浄土真実教文類	無尽灯	21巻4号
59	一九一六 大正5・8・10	無方学人	西谷順誓師述「教行信証講話」を読みて	六条学報	178号
60	一九一六 大正5・10・10	井口龍猛	本典研究大綱篇	六条学報	181号
61	一九一七 大正6・1・10	井口龍猛	本典研究大綱篇(承前)	六条学報	183号
62	一九一七 大正6・2・15	妻木直良	本典の製作年代を論じて古版四種の底本に及ぶ(上)	六条学報	184号
63	一九一七 大正6・3・10	妻木直良	本典の製作年代を論じて古版四種の底本に及ぶ(下)	六条学報	185号
64	一九一七 大正6・3・10	井口龍猛	本典研究大綱篇(承前)	六条学報	185号
65	一九一七 大正6・5・10	中井玄道	教行信証引文の体例(其一)	六条学報	187号
66	一九一七 大正6・5・15	中井玄道	教行信証引文の体例(其二)	六条学報	188号
67	一九一七 大正6・7・15	中井玄道	教行信証引文の体例(其三)	六条学報	189号
68	一九一七 大正6・9・10	中井玄道	教行信証引文の体例(其四)	六条学報	191号
69	一九一七 大正6・11・10	中井玄道	教行信証引文の体例(其五)	六条学報	193号
70	一九一八 大正7・2・1	井上右近	「化身土巻」より逆観したる「教行信証」序説	無尽灯	22巻1号
71	一九一八 大正7・6・10	杉紫朗	教行信証大意	六条学報	200号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
72	一九一八 大正7・10・10	源哲勝	教行信証に現はれたる十住毗婆娑論	六条学報	203号
73	一九一八 大正7・12・10	玉置韜晃	教行信証に現はれたる本願薬師經	六条学報	205号
74	一九一九 大正8・1・10	鈴木法琛	教行信証に現はれたる安樂集	六条学報	206号
75	一九一九 大正8・2・10	蘭田宗恵	教行信証に現はれたる涅槃經(上)	六条学報	207号
76	一九一九 大正8・3・10	豊水楽勝	教行信証に現れたる選択集	六条学報	208号
77	一九一九 大正8・4・10	梅原真隆	教行信証に現れたる末法灯明記	六条学報	209号
78	一九一九 大正8・5・10	中井玄道	教行信証の異本(上)	六条学報	210号
79	一九一九 大正8・6・10	蘭田宗恵	教行信証に現れたる涅槃經(下)	六条学報	211号
80	一九一九 大正8・6・10	鷺尾教導	教行信証に現れたる論語 宗祖と論語と嵯峨三位	六条学報	211号
81	一九一九 大正8・6・10	中井玄道	教行信証の異本(下)	六条学報	211号
82	一九一九 大正8・7・16	妻木直良	本願寺所蔵の真本「教行信証」に就て	法爾	18号
83	一九一九 大正8・8・16	妻木直良	本願寺所蔵の真本「教行信証」に就て(承前)	法爾	19号
84	一九一九 大正8・11・10	湯次了栄	本典所引の華嚴經	六条学報	216号
85	一九二〇 大正9・2・10	杉紫朗	教行信証に現はれたる觀經	六条学報	219号
86	一九二〇 大正9・3・30	梅原真隆	教行信証に現はれたる浄土文跋	六条学報	220号
87	一九二〇 大正9・7・15	梅原真隆	さぬきの夢想と「信卷」の表白	親鸞聖人研究	2輯
88	一九二一 大正10・1・10	中沢見明	本願寺本教行信証奥書に就て	史学雑誌	32編1号
89	一九二一 大正10・2・10	中沢見明	本願寺本教行信証奥書の史的価値に就て	史学雑誌	32編2号
90	一九二一 大正10・4・10	河上正雄	教行信証に現はれたる往生要集	六条学報	233号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
91	一九二二 大正10・4・10	大江淳誠	本典に於ける行巻の地位	六条学報	233号
92	一九二二 大正10・6・10	菅原真成	教行信証にあらはれたる戒度の著書 正観記・扶新論及び閑持記	六条学報	235号
93	一九二二 大正10・6・10	鷺尾教導	「教行信証」校訂本を読む	六条学報	235号
94	一九二二 大正10・7・10	川尻宏済	教行信証に現はれたる四帖疏(上)	六条学報	236号
95	一九二二 大正10・9・10	小山法城	本典に顕れたる論・論註	六条学報	238号
96	一九二二 大正10・10・10	川尻宏済	教行信証に現はれたる四帖疏(下)	六条学報	239号
97	一九二二 大正11・2・28	中井玄道	「教行信証」流伝史上に於ける存覚上人の地位	仏教大学論叢	242学
98	一九二二 大正11・4・10	島地大等	「教行信証」大要	真宗講話	6号
99	一九二二 大正11・4・20	泉芳璟	原典より見たる御本書の引用經典	仏教研究	3巻2号
100	一九二二 大正11・4・20	日下無倫	教行信証延書古写本の研究	仏教研究	3巻2号
101	一九二二 大正11・6・28	梅原真隆	本典後序と歎異鈔の相承観	親鸞聖人研究	13輯
102	一九二二 大正11・8・1	喜田貞吉	教行信証に関する疑問に就いて 「親鸞聖人筆跡の研究」 閑聯して(第一回)	歴史地理	40巻2号
103	一九二二 大正11・9・1	喜田貞吉	教行信証に関する疑問に就いて 「親鸞聖人筆跡の研究」 閑聯して(第二回・完)	歴史地理	40巻3号
104	一九二二 大正11・11・1	伊藤祐晃	喜田博士の「教行信証の疑問」を誌みて 法然門下の親鸞に及ぶ	歴史地理	40巻5号
105	一九二二 大正11・11・10	禿氏祐祥	本願寺本「教行信証」解説	真宗講話	11号
106	一九二二 大正11・11・20	辻善之助	教行信証に関する疑問に就いて 喜田博士に答ふ	史学雑誌	33編11号
107	一九二二 大正11・11・28	鷺尾教導	「教行証文類」完成年代考	仏教研究	3巻4号
108	一九二二 大正11・11・28	広瀬南雄	喜田博士の教行信証に対する疑義を読みみて	仏教研究	3巻4号
109	一九二二 大正11・	本多辰次郎	親鸞聖人と教行信証	中央史壇	5巻6号

	掲 載 年 月 日	著 者 名	論 文 名	雑 誌 名	巻数(号数)
110	一九二三 大正12・1・1	喜田貞吉	親鸞聖人と教行信証とに就いて 辻・本多両君の教示に答ふ	歴史地理	41巻1号
111	一九二三 大正12・1・1	喜田貞吉	親鸞聖人と教行信証	社会史研究	9巻1号
112	一九二三 大正12・1・1	喜田貞吉	梅原真隆氏の教行信証誤読観	社会史研究	9巻1号
113	一九二三 大正12・2・1	本田辰次郎	教行信証問題に就いて喜田博士の三難に答ふ	歴史地理	41巻2号
114	一九二三 大正12・2・20	辻善之助	教行信証に関する疑問について再び喜田博士に答ふ	史学雑誌	34編2号
115	一九二三 大正12・3・1	喜田貞吉	教行信証問題	社会史研究	9巻3号
116	一九二三 大正12・3・1	喜田貞吉	西本願寺蔵教行信証の複製本	社会史研究	9巻3号
117	一九二三 大正12・3・1	喜田貞吉	教行信証に関する本多君の弁明	社会史研究	9巻3号
118	一九二三 大正12・3・15	橋川正	教行信証流伝史の一節	仏教研究	4巻1号
119	一九二三 大正12・3・15	日下無倫	東本願寺所蔵教行信証延書のこと	仏教研究	4巻1号
120	一九二三 大正12・4・1	喜田貞吉	辻博士の教行信証に関する再駁	社会史研究	9巻4号
121	一九二三 大正12・4・28	吉沢義則	教行信証の訓点は坂東語か	龍谷大学論叢	249号
122	一九二三 大正12・4・28	中井玄道	教行信証註疏解題	龍谷大学論叢	249号
123	一九二三 大正12・5・1	喜田貞吉	本多君の「教行信証」の撰述者に就いての講演	社会史研究	9巻5号
124	一九二三 大正12・5・1	喜田貞吉	例の教行信証誤読問題	社会史研究	9巻5号
125	一九二三 大正12・6・1	喜田貞吉	教行信証新研究号「太上天皇」と「太上天皇に」と	社会史研究	9巻6号
126	一九二三 大正12・6・1	喜田貞吉	教行信証の代作者か	社会史研究	9巻6号
127	一九二三 大正12・7・1	喜田貞吉	禿氏祐祥君の教行信証考証	社会史研究	10巻1号
128	一九二三 大正12・7・1	喜田貞吉	教行信証の後序原訓の解釈	社会史研究	10巻1号



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
129	一九二三 大正12・11・1	喜田貞吉	教行信証に関する論戦と其の批判―梅原真隆君講演	社会史研究	10巻2号
130	一九二三 大正12・12・20	中沢見明	「教行信証」著作の意志及その年代に就て	仏教研究	4巻3・4号
131	一九二三 大正12・12・20	日下無倫	教行信証古写本の種類及その最古の註疏	仏教研究	4巻3・4号
132	一九二三 大正12・	本多辰次郎	親鸞聖人と教行信証	中央史壇	6巻2号
133	一九二四 大正13・1・1	本多辰次郎	「教行信証」論帰結に就いての私見	歴史地理	43巻1号
134	一九二四 大正13・10・20	吉沢義則	本願寺本教行信証点注の筆者に就いて(上)	龍谷大学論叢	258号
135	一九二四 大正13・12・25	吉沢義則	本願寺本教行信証点注の筆者に就いて(下)	龍谷大学論叢	259号
136	一九二五 大正14・2・20	山上正尊	教行信証諸版本展観	仏教研究	6巻1号
137	一九二五 大正14・3・5	梅原真隆	教行信証は親鸞聖人の撰述なり 教行信証流通分の研究其一(教行信証に関する論議と批判)	親鸞聖人研究	42輯
138	一九二五 大正14・3・15	中井玄道	教行信証破壊論に就いて(上)	龍谷大学論叢	260号
139	一九二五 大正14・4・5	梅原真隆	教行信証の選述年代について 教行信証流通分の研究其二(教行信証の選述年代)	親鸞聖人研究	43輯
140	一九二五 大正14・4・15	中井玄道	教行信証破壊論に就いて(下)	龍谷大学論叢	261号
141	一九二五 大正14・10・20	本多辰次郎	教行信証後序の読み方	仏教研究	6巻3号
142	一九二五 大正14・11・5	梅原真隆	教行信証の撰述年代について(下) (教行信証流通分の研究其三) 本多博士の四疑問	親鸞聖人研究	46輯
143	一九二五 大正14・12・5	梅原真隆	承元の法難(上)(教行信証流通分の研究其四)	親鸞聖人研究	47輯
144	一九二五 大正14・12・15	梅原真隆	承元の法難(下)(教行信証流通分の研究其五)	親鸞聖人研究	48輯
145	一九二六 大正15・1・1	金子大栄	本願の表現とその素材としての人生―「教行信証」を讀みて(一)―	仏座	1巻1号
146	一九二六 大正15・1・1	紀平正美	親鸞の「教行信証」について	東亞の光	21巻1号
147	一九二六 大正15・2・1	金子大栄	聞法と自覚―「教行信証」を讀みて(二)―	仏座	1巻2号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
148	一九二六 大正15・3・1	金子大栄	真宗教の成立―「教行信証」を讀みて(三)―	仏座	1巻3号
149	一九二六 大正15・4・1	金子大栄	広く法蔵を開きて―「教行信証」を讀みて(四)	仏座	1巻4号
150	一九二六 大正15・4・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(二)	仏座	1巻4号
151	一九二六 大正15・5・1	金子大栄	教法論―「教行信証」を讀みて(五)―	仏座	1巻5号
152	一九二六 大正15・6・1	金子大栄	真実の行、選択の行―「教行信証」を讀みて(六)	仏座	1巻6号
153	一九二六 大正15・6・1	藤原猶雪	親鸞の「教行信証」成立の時処に就て	中央史壇	12巻6号
154	一九二六 大正15・7・1	金子大栄	念仏の意義―「教行信証」を讀みて(七)―	仏座	1巻7号
155	一九二六 大正15・8・1	金子大栄	菩薩道と念仏(上)―「教行信証」を讀みて(八)	仏座	1巻8号
156	一九二六 大正15・9・1	金子大栄	菩薩道と念仏(下)―「教行信証」を讀みて(九)	仏座	1巻9号
157	一九二六 大正15・10・1	金子大栄	念仏と菩薩道―「教行信証」を讀みて(一〇)―	仏座	1巻10号
158	一九二六 大正15・11・1	金子大栄	願生論―「教行信証」を讀みて(一一)―	仏座	1巻11号
159	一九二六 大正15・12・1	金子大栄	伊蘭の臭・梅檀の香―「教行信証」を讀みて(一二)	仏座	1巻12号
160	一九二六 大正15・12・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(二)	仏座	1巻12号
161	一九二六 大正15・12・1	金子大栄	「教行信証」を讀みての序分	仏座	1巻12号
162	一九二七 昭和2・1・15	金子大栄	本願の名号―「教行信証」を讀みて(一三)―	仏座	13号
163	一九二七 昭和2・2・1	金子大栄	招喚の声―「教行信証」を讀みて(一四)―	仏座	14号
164	一九二七 昭和2・3・1	金子大栄	浄土教と讃歌―「教行信証」を讀みて(一五)―	仏座	15号
165	一九二七 昭和2・4・1	金子大栄	聖道家の応和―「教行信証」を讀みて(一六)―	仏座	16号
166	一九二七 昭和2・5・1	金子大栄	悪人の道德―「教行信証」を讀みて(一七)―	仏座	17号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
167	一九二七	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(三)	仏座	17号
168	一九二七	金子大栄	浄土教の本義―「教行信証」を読み(一八)―	仏座	18号
169	一九二七	広瀬了乘	「教行信証」抄読	大乘	6巻6号
170	一九二七	広瀬了乘	「教行信証」抄読(二)	大乘	6巻7号
171	一九二七	金子大栄	一声称念―「教行信証」を読み(一九)―	仏座	19号
172	一九二七	普賢大圓	証巻に現れたる親鸞の還相廻向觀	真宗研究	1号
173	一九二七	御橋惠言	教行信証と信教	東方仏教	2巻10号
174	一九二七	金子大栄	本願力―「教行信証」を読み(二〇)―	仏座	23号
175	一九二七	金子大栄	一道―「教行信証」を読み(二一)―	仏座	24号
176	一九二八	金子大栄	知恩報徳の為に―「教行信証」を読み(二二)―	仏座	25号
177	一九二八	金子大栄	信に就ての序言―「教行信証」を読み(二三)―	仏座	26号
178	一九二八	金子大栄	大信論(総説)―「教行信証」を読み(二四)―	仏座	27号
179	一九二八	梅原真隆	教行信証と愚禿鈔(上)(村上博士の新説を検討す)	真宗研究	9号
181	一九二八	金子大栄	群生海のころ―「教行信証」を読み(二五)―	仏座	28号
182	一九二八	梅原真隆	教行信証と愚禿鈔(下)(村上博士の新説を検討す)	真宗研究	10号
183	一九二八	金子大栄	淳一相統の心―「教行信証」を読み(二六)―	仏座	29号
184	一九二八	大道治三郎	淳字訓の厚朴に就て	仏座	29号
185	一九二八	金子大栄	金剛不壊の信―「教行信証」を読み(二七)―	仏座	30号
186	一九二八	金子大栄	真宗学の概念―「教行信証」を読み(二八)―	仏座	31号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
187	一九二八 昭和3・8・1	金子大栄	願生に於ける發遣と招喚―「教行信証」を讀みて(二九)―	仏座	32号
188	一九二八 昭和3・9・1	金子大栄	大悲無倦―「教行信証」を讀みて(三〇)―	仏座	33号
189	一九二八 昭和3・10・1	金子大栄	三心一心の問答(上)―「教行信証」を讀みて(三二)―	仏座	34号
190	一九二八 昭和3・10・1	梅原真隆	教行信証と歎異鈔	現代仏教	10月号
191	一九二八 昭和3・11・1	金子大栄	三心一心の問答(下)―「教行信証」を讀みて(三二)―	仏座	35号
192	一九二八 昭和3・12・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(四)	仏座	36号
193	一九二八 昭和3・12・1	金子大栄	至心―「教行信証」を讀みて(三三)―	仏座	36号
194	一九二八 昭和3・	梅原真隆	教行信証の撰述について	親鸞聖人研究	62輯
195	一九二八 昭和3・	梅原真隆	教行信証に対する七疑について 今岡教授の愚禿親鸞觀を検討す 其三	親鸞聖人研究	63輯
196	一九二八 昭和3・	梅原真隆	教行信証後序に対する一考察	仏国	10号
197	一九二八 昭和3・	源哲勝	信巻を中心とする教行信証	仏国	10号
198	一九二九 昭和4・1・1	金子大栄	信樂―「教行信証」を讀みて(三四)―	仏座	37号
199	一九二九 昭和4・2・1	金子大栄	欲生―「教行信証」を讀みて(三五)―	仏座	38号
200	一九二九 昭和4・3・1	金子大栄	行信論―「教行信証」を讀みて(三六)―	仏座	39号
201	一九二九 昭和4・4・1	金子大栄	菩提心と信樂―「教行信証」を讀みて(三七)―	仏座	40号
202	一九二九 昭和4・5・1	金子大栄	信樂開發の一念―「教行信証」を讀みて(三八)―	仏座	41号
203	一九二九 昭和4・6・1	金子大栄	彼岸への横超―「教行信証」を讀みて(三九)―	仏座	42号
204	一九二九 昭和4・7・1	金子大栄	真仏弟子―「教行信証」を讀みて(四〇)―	仏座	43号
205	一九二九 昭和4・8・1	金子大栄	罪惡に対する弁明と懺悔―「教行信証」を讀みて(四一)―	仏座	44号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
206	一九二九 昭和4・9・1	金子大栄	月愛三昧―「教行信証」を読み(四二)―	仏座	45号
207	一九二九 昭和4・10・1	金子大栄	逆悪と謗法―「教行信証」を読み(四三)	仏座	46号
208	一九二九 昭和4・11・1	金子大栄	抑止と摂取―「教行信証」を読み(四四)―	仏座	47号
209	一九二九 昭和4・12・1	金子大栄	真実証―「教行信証」を読み(四五)―	仏座	48号
210	一九三〇 昭和5・1・1	金子大栄	浄土と大涅槃―「教行信証」を読み(四六)―	仏座	49号
211	一九三〇 昭和5・2・1	金子大栄	還相廻向論―「教行信証」を読み(四七)―	仏座	50号
212	一九三〇 昭和5・3・20	中井玄道	教行信証譬喩索引	真宗研究	41号
213	一九三〇 昭和5・3・1	金子大栄	浄土の菩薩―「教行信証」を読み(四八)―	仏座	51号
214	一九三〇 昭和5・4・1	金子大栄	願心莊嚴―「教行信証」を読み(四九)―	仏座	52号
215	一九三〇 昭和5・5・1	宗学院同人	本典研鑽集記	宗学院論輯	3輯
216	一九三〇 昭和5・5・1	金子大栄	願生道と成仏道―「教行信証」を読み(五〇)―	仏座	53号
217	一九三〇 昭和5・5・5	大沼善隆	信巻より見たる真宗教義の一斑	真宗学会会報	4号
218	一九三〇 昭和5・6・1	金子大栄	園林遊戲―「教行信証」を読み(五一)―	仏座	54号
219	一九三〇 昭和5・7・25	宗学院同人	本典研鑽集記第二	宗学院論輯	4輯
220	一九三〇 昭和5・7・1	金子大栄	真仏土―「教行信証」を読み(五二)―	仏座	55号
221	一九三〇 昭和5・8・1	金子大栄	光明の諸徳―「教行信証」を読み(五三)―	仏座	56号
222	一九三〇 昭和5・9・1	金子大栄	涅槃の意義―「教行信証」を読み(五四)―	仏座	57号
223	一九三〇 昭和5・10・1	金子大栄	常楽の浄土―「教行信証」を読み(五五)―	仏座	58号
224	一九三〇 昭和5・11・1	金子大栄	涅槃と仏性―「教行信証」を読み(五六)―	仏座	59号

	掲 載 年 月 日	著 者 名	論 文 名	雑 誌 名	巻数(号数)
225	一九三〇	梅原真隆	教行信証総序(上)	親鸞聖人研究	71輯
226	一九三〇	梅原真隆	教行信証雑抄	親鸞聖人研究	71輯
227	一九三〇	齊藤唯信	真仏土研究の序説	宗学研究	1号
228	一九三〇	金子大栄	浄土の諸徳―「教行信証」を讀みて(五七)―	仏座	60号
229	一九三〇	大江淳誠	本典の構成より見たる雁門終南吉水の三祖に対する親鸞聖人の態度	龍谷大学論叢	289号
230	一九三〇	梅原真隆	「教行信証」の中心問題(上)	親鸞聖人研究	69輯
231	一九三〇	梅原真隆	「教行信証」の中心問題(下)	親鸞聖人研究	70輯
232	一九三二	金子大栄	本願酬報の意義―「教行信証」を讀みて(五八)―	仏座	61号
233	一九三二	武内義雄	教行信証所引弁正論に就いて	大谷学報	12巻1号
234	一九三二	金子大栄	真仮の分判―「教行信証」を讀みて(五九)―	仏座	62号
235	一九三二	金子大栄	真実と方便―「教行信証」を讀みて(六〇)―	仏座	63号
236	一九三二	爪生津隆雄	「教行信証大意」に於ける一問題	宗学院論輯	5輯
237	一九三二	宗学院同人	本典研鑽集記第三	宗学院論輯	5輯
238	一九三二	梅原真隆	十住毘婆沙論と教行信証	顕真学報	3号
239	一九三二	金子大栄	来迎論―「教行信証」を讀みて(六一)―	仏座	64号
240	一九三二	稲葉秀賢	行巻に於ける曇鸞教義の開展(上)	宗学研究	2号
241	一九三二	金子大栄	願生心の自己反省―「教行信証」を讀みて(六二)	仏座	65号
242	一九三二	金子大栄	定散の心と念仏の信―「教行信証」を讀みて(六三)	仏座	66号
243	一九三二	金子大栄	聖道より浄土へ―「教行信証」を讀みて(六四)―	仏座	67号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
244	一九三二 昭和6・7・30	宗学院同人	本典研鑽集記第四	宗学院論輯	7 輯
245	一九三二 昭和6・8・1	金子大栄	雑行雑修の分別―「教行信証」を讀みて(六五)― 「阿弥陀經」の一心―「教行信証」を讀みて(六六)	仏座	68 号
246	一九三二 昭和6・9・1	金子大栄	果遂の誓―「教行信証」を讀みて(六七)―	仏座	69 号
247	一九三二 昭和6・10・1	金子大栄	難信論―「教行信証」を讀みて(六八)―	仏座	70 号
248	一九三二 昭和6・11・1	金子大栄	三願転入の表白―「教行信証」を讀みて(六九)―	仏座	71 号
249	一九三二 昭和6・12・1	金子大栄	本典研鑽集記第五	宗学院論輯	8 輯
250	一九三二 昭和6・12・15	宗学院同人	浄土教興起の時機―「教行信証」を讀みて(七〇)―	仏座	73 号
251	一九三二 昭和7・1・1	金子大栄	末法灯明記―「教行信証」を讀みて(七二)―	仏座	74 号
252	一九三二 昭和7・2・1	金子大栄	真偽の勘決―「教行信証」を讀みて(七二)―	仏座	75 号
253	一九三二 昭和7・3・1	金子大栄	本典研鑽集記第六	宗学院論輯	9 輯
254	一九三二 昭和7・3・20	宗学院同人	天界と人生―「教行信証」を讀みて(七三)―	仏座	76 号
255	一九三二 昭和7・4・1	金子大栄	真仏土研究序説の二	宗学研究	4 号
256	一九三二 昭和7・4・20	斉藤唯信	行巻に於ける曇鸞教義の開展(下)	宗学研究	4 号
257	一九三二 昭和7・4・20	稲葉秀賢	邪道雜記―「教行信証」を讀みて(七四)―	仏座	77 号
258	一九三二 昭和7・5・1	金子大栄	道教批判―「教行信証」を讀みて(七五)―	仏座	78 号
259	一九三二 昭和7・6・1	金子大栄	本典大綱	龍谷大学論叢	302 号
260	一九三二 昭和7・6・25	雲山龍珠	祠鬼神の非義―「教行信証」を讀みて(七六)―	仏座	79 号
261	一九三二 昭和7・7・1	金子大栄	噫慶師の広本観に就いて	真宗論攷	2 号
262	一九三二 昭和7・7・1	桑谷観宇			

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
263	一九三二 昭和7・7・25	宗学院同人	本典研鑽集記第七	宗学院論輯	10輯
264	一九三二 昭和7・8・1	金子大栄	真宗興隆の事縁―「教行信証」を読みみて(七七)―	仏座	80号
265	一九三二 昭和7・9・10	梅原真隆	教行信証の概観(二) 御本典の題号について	親鸞聖人研究	73輯
266	一九三二 昭和7・11・15	梅原真隆	教行信証の概観(二) 真仮分判の批判と旨趣	親鸞聖人研究	74輯
267	一九三二 昭和7・12・1	宮家貫吾	化身土巻と観經	宗学研究	5号
268	一九三二 昭和7・12・1	旭野正信	教行信証に於ける報恩称名の地位(上)	宗学研究	5号
269	一九三二 昭和7・12・15	宗学院同人	本典研鑽集記第八	宗学院論輯	11輯
270	一九三三 昭和8・1・20	梅原真隆	教行信証の概観(三) 信巻別開の批判と組織	親鸞聖人研究	75輯
271	一九三三 昭和8・1・20	梅原真隆	教行信証総序文(下)	親鸞聖人研究	75輯
272	一九三三 昭和8・4・13	旭野正信	教行信証に於ける報恩称名の地位(下)	宗学研究	6号
273	一九三三 昭和8・4・13	宮家貫吾	化巻と観經	宗学研究	6号
274	一九三三 昭和8・4・30	宗学院同人	本典研鑽集記第九	宗学院論輯	12輯
275	一九三三 昭和8・5・1	中沢見明	専修寺蔵の見聞集と教行信証成立の時代に就て	高田学報	4輯
276	一九三三 昭和8・6・28	新道高明	御本典の成立考	真宗学報	12号
277	一九三三 昭和8・7・30	宗学院同人	本典研鑽集記第十	宗学院論輯	13輯
278	一九三三 昭和8・9・1	水谷壽	「教行信証」の通俗的解説	現代仏教	9月号
279	一九三三 昭和8・9・25	梅原真隆	教行信証に現れたる末法灯明記(因に三井淳弁氏の末法紀元の考察を批評す)	顕真学報	3巻1号
280	一九三三 昭和8・9・25	玉置頼晃	「教行信証」に引用せられたる天台部釈文	顕真学報	3巻1号
281	一九三三 昭和8・9・25	大原性實	教行信証に現れたる楽邦文類	顕真学報	3巻1号



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
282	一九三三 昭和8・9・25	高千穂徹乗	教行信証に現れたる往生拾因―親鸞聖人の機根論―	顕真学報	3巻1号
283	一九三三 昭和8・9・30	梅原真隆	教行信証の御左訓について	親鸞聖人研究	77輯
284	一九三三 昭和8・10・1	山口竹千代	殺された「信巻」―「教行信証」に於ける親鸞用語「行信」をめぐるて―	現代仏教	10月号
285	一九三三 昭和8・10・10	常磐井堯祺	教行信証の校訂	高田学報	6輯
286	一九三三 昭和8・10・10	三井淳弁	教行信証と和讃の交渉	高田学報	6輯
287	一九三三 昭和8・12・15	向野策馬	浄土三経及び本典と涅槃経との関係	宗学院論輯	14輯
288	一九三三 昭和8・12・15	宗学院同人	本典研鑽集記第一	宗学院論輯	14輯
289	一九三四 昭和9・1・7	中沢見明	見聞集と教行信証 梅原氏の教示をうけて	高田学報	7輯
290	一九三四 昭和9・1・7	常磐井堯祺	教行信証の校訂(2)	高田学報	7輯
291	一九三四 昭和9・1・25	禿諦住	「本典」の組織より見たる「行信」の問題に就いて	大谷学報	15巻1号
292	一九三四 昭和9・4・20	向野策馬	浄土三経及び本典と涅槃経との関係(二)	宗学院論輯	15輯
293	一九三四 昭和9・4・20	宗学院同人	本典研鑽集記第二	宗学院論輯	15輯
294	一九三四 昭和9・8・5	市川良宣	「本典」所引に於ける今家の「華嚴経」観	宗学院論輯	16輯
295	一九三四 昭和9・8・5	宗学院同人	本典研鑽集記第三	宗学院論輯	16輯
296	一九三四 昭和9・8・10	常磐井堯祺	教行信証の校訂(3)	高田学報	8輯
297	一九三四 昭和9・8・10	山口竹千代	広略両典に於ける措辞に就て 特に二ヶ偈文を中心とする	高田学報	8輯
298	一九三四 昭和9・12・15	禿諦住	「行信」に於ける背景の研究―その序説の一部として―	大谷学報	15巻4号
299	一九三四 昭和9・12・25	桑谷観宇	「教行信証大意」の一考察	宗学研究	9号
300	一九三五 昭和10・1・10	宗学院同人	本典研鑽集記第四 <sup>(マ)</sup>	宗学院論輯	17輯

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
319	一九三八	昭和13・8・30	雲山龍珠	本典総序に於ける空華「石泉豊前三轍の評林(一)」	宗学院論輯 27輯
318	一九三八	昭和13・3・1	鈴木宗忠	教行信証の真蹟本に就いて	文化 5巻3号
317	一九三七	昭和12・12・20	桐溪順忍	本典研鑽集記の刊行されて	龍谷学報 320号
316	一九三七	昭和12・12・20	宗学院同人	本典研鑽集記第一九	宗学院論輯 25輯
315	一九三七	昭和12・8・15	宗学院同人	本典研鑽集記第一八	宗学院論輯 24輯
314	一九三七	昭和12・8・15	水戸善英	本典の義例に就いて	宗学院論輯 24輯
313	一九三七	昭和12・7・5	加藤仏眼	浄土教に於ける「顕浄土方便化身土文類」の地位(諸行論ノ一)	龍谷大学 318号
312	一九三七	昭和12・2・25	宗学院同人	本典研鑽集記第一七	宗学院論輯 23輯
311	一九三七	昭和12・2・10	梅原真隆	顕真実の本質的機構 教行信証真仏土巻序説	親鸞聖人研究 81輯
310	一九三六	昭和11・10・1	藤谷一海	親鸞聖人の仮名遣に就いて(阪東本教行信証の仮名遣を主として)	大谷学報 17巻3号
309	一九三六	昭和11・8・5	宗学院同人	本典研鑽集記第六 <sup>(ママ)</sup>	宗学院論輯 22輯
308	一九三六	昭和11・4・25	宗学院同人	本典研鑽集記第六 <sup>(ママ)</sup>	宗学院論輯 21輯
307	一九三六	昭和11・2・10	宗学院同人	本典研鑽集記第六 <sup>(ママ)</sup>	宗学院論輯 20輯
306	一九三六	昭和11・2・5	松陰了諦	教行信証に於ける十住毘婆沙論の引意に就いて(下)	龍谷学報 314号
305	一九三五	昭和10・11・1	常磐井堯祺	教行信証の校訂(4)	高田学報 11輯
304	一九三五	昭和10・10・25	松陰了諦	教行信証に於ける十住毘婆沙論の引意に就いて(上)	龍谷大報 313号
303	一九三五	昭和10・10・10	禿諦住	三心釈の展開過程―「本典」の成立に関する一考察	大谷学報 16巻3号
302	一九三五	昭和10・8・5	宗学院同人	本典研鑽集記第一六	宗学院論輯 19輯
301	一九三五	昭和10・5・1	宗学院同人	本典研鑽集記第五 <sup>(ママ)</sup>	宗学院論輯 18輯

	338	337	336	335	334	333	332	331	330	329	328	327	326	325	324	323	322	321	320	
	一九四三	一九四二	一九四〇	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三九	一九三八	一九三八	一九三八	掲載年月日
	昭和18・9・1	昭和17・6・20	昭和15・2・28	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・	昭和14・11・1	昭和14・5・5	昭和14・2・20	昭和13・12・20	昭和13・10・25	昭和13・8・30	著者名
	武内義範	稲葉秀賢	林水月	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	曾我量深	鈴木宗忠	雲山龍珠	大江淳誠	雲山龍珠	鈴木宗忠	水戸善英	論文名
	教行信証に於ける教の概念	教行信証研究序説―特にその構造に就いて―	本典の組織に就ての一考察	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証総序聞記	教行信証の成立に関する思想的考察	本典総序に於ける石泉豊前空華三轍の評林(三)	本典と三帖和讀	本典総序に於ける石泉豊前空華三轍の評林(二)	教行信証の構成に関する問題 特に高田本山の史料を中心として	「教文類」に於ける御已証の意義	雑誌名
	哲学研究	大谷大学研究年報	真宗学会会報	仏道	仏道	仏道	仏道	仏道	仏道	仏道	仏道	仏道	仏道	文化	宗学院論輯	真宗学会会報	宗学院論輯	仏教研究	宗学院論輯	
	33028号 卷9冊	1輯	11号	1巻33号	1巻32号	1巻31号	1巻30号	1巻29号	1巻28号	1巻27号	1巻26号	1巻24号	1巻23号	6巻11号	29輯	10号	28輯	2巻5号	27輯	巻数(号数)

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
339	一九四四 昭和19・2・1	武内義範	教行信証に於ける教の概念(承前)	哲学研究	33529号 巻2冊
340	一九四四 昭和19・3・1	武内義範	教行信証に於ける教の概念(承前)	哲学研究	33629号 巻3冊
341	一九四八 昭和23・11・1	武内義範	教行信証の論理・序講	教学	1巻8号
342	一九四八 昭和23・11・28	生桑完明	高田伝来の教行証真本を尋ねて	高田教学	1号
343	一九四九 昭和24・3・1	武内義範	教行信証の論理・序講	教学	9号
344	一九四九 昭和24・6・20	金子大栄	真宗聖典「教行信証」抄訳序	全人	2巻6号
345	一九四九 昭和24・7・25	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意識教	全人	2巻7号
346	一九四九 昭和24・9・1	武内義範	教行信証私訳	東方	11号
347	一九四九 昭和24・9・15	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意識行の巻	全人	2巻8・9合併号
348	一九四九 昭和24・10・5	結城令聞	教行信証の信巻別撰についての私見	宗教研究	122号
350	一九四九 昭和24・10・30	金子大栄	真実聖典「教行信証」意識不退の法 龍樹の一	全人	2巻10号
351	一九四九 昭和24・11・	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意識不退の法 龍樹の二	全人	2巻11号
352	一九四九 昭和24・12・	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意識三 真実の徳	全人	2巻12号
353	一九五〇 昭和25・1・30	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意識往生浄土の教	全人	3巻1号
354	一九五〇 昭和25・3・5	金子大栄	真宗聖典5「教行信証」意識転成の徳	全人	3巻2号
355	一九五〇 昭和25・4・5	金子大栄	真宗聖典6「教行信証」意識念仏成仏	全人	3巻3号
356	一九五〇 昭和25・5・5	金子大栄	真宗聖典7「教行信証」意識念仏成仏(二)	全人	3巻4号
357	一九五〇 昭和25・6・5	金子大栄	真宗聖典8「教行信証」意識念仏成仏(三)	全人	3巻5号
358	一九五〇 昭和25・7・5	金子大栄	真宗聖典9「教行信証」意識徳と名	全人	3巻6号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
376	一九五一	金子大栄	真宗聖典23「教行信証」意識 大信海	全人	4巻9号
375	一九五一	金子大栄	真宗聖典22「教行信証」意識 欲生	全人	4巻8号
374	一九五一	石田充之	教行信証成立期の法然教団の動向	真宗学	3号
373	一九五一	上杉思朗	「行巻」御引用の「十住毗婆沙論」の文に就て	聞思	2号
372	一九五一	金子大栄	真宗聖典21「教行信証」意識 信楽	全人	4巻7号
371	一九五一	金子大栄	真宗聖典20「教行信証」意識 至心	全人	4巻6号
370	一九五一	金子大栄	真宗聖典19「教行信証」意識 三心釈	全人	4巻5号
369	一九五一	金子大栄	真宗聖典18「教行信証」意識 二河譬	全人	4巻4号
368	一九五一	宮崎圓遵	「教行信証」に現はれた元仁元年の年紀について	龍谷史壇	34号
367	一九五一	金子大栄	真宗聖典17「教行信証」意識 至誠心・深心	全人	4巻3号
366	一九五一	金子大栄	真宗聖典16「教行信証」意識 本願・淳一相続の心	全人	4巻2号
365	一九五一	金子大栄	真宗聖典15「教行信証」意識 信のよろこび	全人	4巻1号
364	一九五〇	金子大栄	真宗聖典14「教行信証」意識 正信讃歌	全人	3巻11号
363	一九五〇	桐溪順忍	教行信証に於ける引用の態度	龍谷大学論集	340号
362	一九五〇	金子大栄	真宗聖典13「教行信証」意識 一乗海	全人	3巻10号
349	一九五〇	松野純孝	教行信証述集の年代	宗教研究	123号
361	一九五〇	金子大栄	真宗聖典12「教行信証」意識 本願力	全人	3巻9号
360	一九五〇	金子大栄	真宗聖典11「教行信証」意識 一声称念の力	全人	3巻8号
359	一九五〇	金子大栄	真宗聖典10「教行信証」意識 仏徳に相應して	全人	3巻7号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
377	一九五一	金子大栄	真宗聖典24「教行信証」意識 信楽開発の一念	全人	4巻10号
378	一九五一	金子大栄	真宗聖典25「教行信証」意識 横超の道	全人	4巻11号
379	一九五一	大原性実	教行信証撰述問題私見―内容より見たる本問題解決の示唆―	龍谷大学論集	342号
380	一九五一	金子大栄	真宗聖典26「教行信証」意識 真の仏弟子	全人	5巻1号
381	一九五一	金子大栄	真宗聖典26「教行信証」意識 阿闍世の獲信	全人	5巻2号
382	一九五一	金子大栄	真宗聖典27「教行信証」意識 業縁―阿闍世の獲信(続)―	全人	5巻3号
383	一九五一	金子大栄	真宗聖典28「教行信証」意識 逆悪と謗法	全人	5巻4号
384	一九五一	権藤正行	「教行信証」選述の時期と宗祖の帰洛事情について	全人	5巻4号
385	一九五一	金子大栄	真宗聖典29「教行信証」意識 抑止と摂取	全人	5巻5号
386	一九五一	真岡慶心	教行信証御真本を慕いて(上)	高田研究	3号
387	一九五一	大江淳誠	教行信証文類の展望	真宗学	7・8合併号
388	一九五一	結城令聞	教行信証に於ける信巻別撰論攷	印度学仏教学研究	1巻1号
389	一九五一	金子大栄	真宗聖典30「教行信証」意識 真実の証	全人	5巻6号
390	一九五一	森西洲	教行信証化巻末について	宗教研究	131号
391	一九五一	金子大栄	真宗聖典31「教行信証」意識 還相廻向	全人	5巻7号
392	一九五一	金子大栄	真宗聖典32「教行信証」意識 浄土の聖者	全人	5巻8号
393	一九五一	真岡慶心	教行信証御真本を慕いて(下)	高田研究	4号
394	一九五一	金子大栄	真宗聖典33「教行信証」意識 人法一如・身土不二	全人	5巻9号
395	一九五一	大江淳誠	「教行信証」信巻別撰説の批判―特に内容の方面より―	龍谷大学論集	345号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
396	一九五二	昭和27・12・10	小川貫弐	阪東本教行信証の形態	345号
397	一九五二	昭和27・12・15	森西洲	教行信証阪東本について	133号
398	一九五二	昭和27・12・20	金子大栄	真宗聖典34「教行信証」意識 柔軟心	5巻10号
399	一九五二	昭和27・	太田祖電	広略二文類の比較	3号
400	一九五三	昭和28・1・20	金子大栄	真宗聖典35「教行信証」意識 入出自在	6巻1号
401	一九五三	昭和28・3・25	花山信勝	教行信証論攷の基盤について	1巻2号
402	一九五三	昭和28・3・25	結城祐昭	教行信証に於ける末法灯明記	1巻2号
403	一九五三	昭和28・3・25	大江淳誠	教行信証信巻別撰説の批判	1巻2号
404	一九五三	昭和28・4・20	金子大栄	真宗聖典36「教行信証」意識 無量光明土	6巻2号
405	一九五三	昭和28・6・20	金子大栄	真宗聖典37「教行信証」意識 涅槃	6巻3号
406	一九五三	昭和28・9・25	森脇一掬	選択集と教行信証に関する一考察	創刊号
407	一九五三	昭和28・9・30	佐々木玄智	教行信証の信巻別選説について	2巻1号
408	一九五三	昭和28・9・30	結城令聞	再説信巻別撰攷	2巻1号
409	一九五三	昭和28・10・20	金子大栄	真宗聖典38「教行信証」意識 常楽の浄域	6巻4号
410	一九五三	昭和28・11・10	常磐井堯祺	教行信証の校勘(5)	34輯
410	一九五三	昭和28・11・10	岩田繁三	教行信証の成立に就いて―信巻の問題を中心に―	34輯
411	一九五三	昭和28・11・20	金子大栄	真宗聖典39「教行信証」意識 久遠の郷土	6巻5号
412	一九五三	昭和28・12・20	金子大栄	真宗聖典40「教行信証」意識 浄土の徳	6巻6号
413	一九五三	昭和28・12・24	常磐井堯祺	教行信証の校勘(6)	35輯

	掲 載 年 月 日	著 者 名	論 文 名	雑 誌 名	巻数(号数)
414	一九五三 昭和28・12・24	岩田繁三	浄土文類聚鈔と本典との関係	高田学報	35輯
415	一九五三 昭和28・12	森西洲	教行信証の行信化三巻の組織関係	宗教研究	137号
416	一九五三 昭和28・	武生讓	真仏土巻「涅槃經」引文の祖訓について	聞思	5号
417	一九五四 昭和29・1・20	金子大栄	真宗聖典41「教行信証」意識 本願酬報	全人	7巻1号
418	一九五四 昭和29・2・20	金子大栄	真宗聖典42「教行信証」意識 帰結	全人	7巻2号
419	一九五四 昭和29・3・30	神子上恵龍	教行信証の思想背景	印度学仏教学研究	2巻2号
420	一九五四 昭和29・3・30	小川貫弑	阪東本「教行信証」信巻の筆蹟	印度学仏教学研究	2巻2号
421	一九五四 昭和29・4・20	金子大栄	真宗聖典43「教行信証」意識 本願と成就 化身土の巻	全人	7巻3号
422	一九五四 昭和29・7・15	加藤仏眼	浄土教に於ける「顕浄土真実証文類」の地位	真宗学	11号
423	一九五四 昭和29・9・1	大谷専修学院 親鸞聖人研究会	学界展望「教行信証」信巻別撰をめぐる論争	親鸞聖人論攷	創刊号
424	一九五四 昭和29・9・25	石田充之	教行信証の成立問題	印度学仏教学研究	3巻1号
425	一九五四 昭和29・9・25	武生讓	「教行信証」題号の緣由に就いて	印度学仏教学研究	3巻1号
426	一九五四 昭和29・9・25	禿氏祐祥	阪東本教行信証と著作過程	印度学仏教学研究	3巻1号
427	一九五四 昭和29・9・28	生桑完明	教行証に撰取せられたる法華經	高田学報	36輯
428	一九五四 昭和29・10・30	松原祐善	教行信証の製作の意向についての一反省	僧伽	12号
429	一九五四 昭和29・12・10	森西洲	教行信証の三序の対応	親鸞聖人論攷	2号
430	一九五四 昭和29・12・20	加藤仏眼	浄土仏教の確立 「顕浄土真実証文類」の地位	龍谷大学論集	348号
431	一九五四 昭和29・12・20	正親含英	御本書講讀Ⅰ 総序讃仰	教化研究	7号
432	一九五四 昭和29・12・20	曾我量深	御本書講讀Ⅰ 真実之教	教化研究	7号



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
433	一九五四	金子大栄	御本書講讀Ⅰ 大行	教化研究	7号
434	一九五四	谷内正順	御本書講讀Ⅰ 教化時感	教化研究	7号
435	一九五四	稲葉秀賢	御本書講讀Ⅰ 他力に就いて	教化研究	7号
436	一九五四	武生讓	御本書講讀Ⅰ 光明名号両重の因縁	教化研究	7号
437	一九五四	大河内了悟	御本書講讀Ⅰ 正信偈讃仰	教化研究	7号
438	一九五四	柏原祐義	御本書講讀Ⅰ 名号のいわれ(六字釈)	教化研究	7号
439	一九五四	柘植闡英	御本書講讀Ⅰ 至徳の風靜かに	教化研究	7号
440	一九五四	山本正文	「教行信証」に於ける救済の論理	宗教研究	142号
441	一九五四	稲葉秀賢	教行信証に於ける行の概念	聞思	併6・7号
442	一九五五	大江淳誠	大無量寿経と教行信証	真宗学	12号
443	一九五五	加藤仏眼	浄土教に於ける「顕浄土真実証文類」の地位	真宗学	12号
444	一九五五	曾我量深 <small>谷内正順・寺川俊昭・松谷了玄・橋公正・加来玄雄・其同執筆</small>	御本書講讀Ⅱ 別序讃仰	教化研究	8号
445	一九五五	曾我量深	御本書講讀Ⅱ 真実の信楽	教化研究	8号
446	一九五五	武生讓	御本書講讀Ⅱ 本願と名号と信心	教化研究	8号
447	一九五五	白井成允	御本書講讀Ⅱ 菩提心について	教化研究	8号
448	一九五五	安井広度	御本書講讀Ⅱ 一念	教化研究	8号
449	一九五五	蜂屋賢喜代	御本書講讀Ⅱ 聞即信	教化研究	8号
450	一九五五	加藤智学	御本書講讀Ⅱ 真の仏弟子	教化研究	8号
451	一九五五	松原祐善	御本書講讀Ⅱ 抑止の意義	教化研究	8号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
470	一九五五	昭和30・6・30	武生讓	御本書講讀Ⅲ 時と教	教化研究 9号
469	一九五五	昭和30・6・30	大河内了悟	御本書講讀Ⅲ 三願転入補説	教化研究 9号
468	一九五五	昭和30・6・30	常本憲雄	御本書講讀Ⅲ 信不具足	教化研究 9号
467	一九五五	昭和30・6・30	藤原正圓	御本書講讀Ⅲ 罪福を信ずる心	教化研究 9号
466	一九五五	昭和30・6・30	日野環	御本書講讀Ⅲ 要門と真門と弘願	教化研究 9号
465	一九五五	昭和30・6・30	内藤康道	御本書講讀Ⅲ 顕彰隠密の義	教化研究 9号
464	一九五五	昭和30・6・30	金子大栄	御本書講讀Ⅲ 真実と方便	教化研究 9号
463	一九五五	昭和30・6・30	曾我量深	御本書講讀Ⅲ 如来と浄土	教化研究 9号
462	一九五五	昭和30・6・30	赤松恵澄	教行信証成立に関する一考察	東海仏教 1輯
461	一九五五	昭和30・6・30	蓬茨祖運	教行信証の思想的体系の研究	大谷学報 35巻1号
460	一九五五	昭和30・6・25	小川貫弑	阪東本「教行信証」行巻の筆蹟	龍谷史壇 39号
459	一九五五	昭和30・3・	秀野大衍	本典に於ける信一念釈の意義	宗学院研究発表 3
458	一九五五	昭和30・3・18	稲葉秀賢	教行信証に於ける教行の關係	大谷学報 34巻4号
457	一九五五	昭和30・3・10	阪東環城	御本書講讀Ⅱ 正定の聚に住す	教化研究 8号
456	一九五五	昭和30・3・10	佐々木蓮磨	御本書講讀Ⅱ 現当両益	教化研究 8号
455	一九五五	昭和30・3・10	川上清吉	御本書講讀Ⅱ 還相廻向	教化研究 8号
454	一九五五	昭和30・3・10	金子大栄	御本書講讀Ⅱ 真実証	教化研究 8号
453	一九五五	昭和30・3・10	谷内正順	御本書講讀Ⅱ 教化時感	教化研究 8号
452	一九五五	昭和30・3・10	岩見護	御本書講讀Ⅱ 現生十種の益	教化研究 8号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
471	一九五五	寺田正勝	御本書講讃Ⅲ 鬼神の教	教化研究	9号
472	一九五五	稲葉秀賢	御本書講讃Ⅲ 後序讃仰	教化研究	9号
473	一九五五	谷内正順	御本書講讃Ⅲ 教化時感	教化研究	9号
474	一九五五	大須賀秀道	御本書講讃Ⅲ 「同朋の書」によせて	教化研究	9号
475	一九五五	藤島達郎	御本書講讃Ⅲ 坂東本について	教化研究	9号
476	一九五五	小野清一郎	御本書講讃Ⅲ 親鸞聖人における二つの海	教化研究	9号
477	一九五五	岩田繁三	「見聞集」より見たる「教行信証」の成立とその意義	真宗研究	1輯
478	一九五五	立花浄見	行巻の行について	真宗研究	1輯
479	一九五五	日野環	「教行信証」化身土巻の古写延書本の零残について	真宗研究	1輯
480	一九五五	山本正文	疑蓋無雜の倫理 「信巻」三一問答を中心として	真宗研究	1輯
481	一九五五	大江淳誠	三法四法と広略二典	真宗学	13・14号
482	一九五五	稲葉秀賢	「教行信証」信巻に就いて(上) 信巻別撰説と関聯して	親鸞聖人論攷	4号
483	一九五五	日野環	随見随聞随感記 専修寺蔵の親鸞撰述聖教及坂東御本書等	親鸞聖人論攷	4号
484	一九五五	湯岡孝昭	坂東本教行信証左訓集	大谷大学研究年報	8集
485	一九五六	結城令聞	選択集と教行信証との関係について	印度学仏教学研究	4巻1号
486	一九五六	日野環	「坂東本」に先行する教行証文類と信巻別撰論	大谷学報	35巻4号
487	一九五六	武生讓	別序沈迷の機について	大谷学報	36巻1号
488	一九五六	森西洲	教行信証の行信化三巻の対応関係	東海仏教	2輯
489	一九五六	小島叡成	御本書行巻に顕れた大行の性格について	東海仏教	2輯

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
490	一九五六	生桑完明	高田伝来の「教行信証」真本について	真宗研究	2 輯
491	一九五六	稲垣最三	「教行信証」の仏性論	真宗研究	2 輯
492	一九五六	小川貫弐	真筆の草本「顕化身土文類」	真宗研究	2 輯
493	一九五六	桐溪順忍・結城令聞・笠原一男	(鼎談・親鸞研究) 親鸞の宗教と「教行信証」の問題点	大世界	11 巻 10 号
494	一九五六	小川貫弐	恵信尼文書から見たる教行信証の撰述	龍谷大学論集	353 号
495	一九五六	赤松俊秀	教行信証(坂東本)について	史林	39 巻 6 号
496	一九五六	常磐井堯祺	教行信証の校勘(7)	高田学報	39 輯
497	一九五六	権藤圓立	親鸞聖人の音楽性についての考察(教行信証の文体について)	親鸞聖人論攷	5 号
498	一九五六	日野環	随見随聞随感記(二)	親鸞聖人論攷	5 号
499	一九五六	森西洲	「教行信証」に於ける「真実」の意義	宗教研究	150 号
500	一九五七	石田充之	教行信証製作の意志問題より信巻別撰論の批判に及ぶ	印度学仏教学研究	5 巻 1 号
501	一九五七	松野純孝	如来等同思想の形成について 坂東本「教行信証」信巻の成立問題	宗教研究	151 号
502	一九五七	松野純孝	消息から見た坂東本「教行信証」信巻の成立問題	印度学仏教学研究	5 巻 2 号
503	一九五七	日野環	坂東本教行信証に於て異筆を課題とする八ヶ処の筆蹟研究	印度学仏教学研究	5 巻 2 号
504	一九五七	常磐井堯祺	教行信証の校勘(8)	高田学報	40 輯
505	一九五七	安井広度	教行信証の行信二巻に於ける行信のありかた 東大結城教授の信巻別撰論を縁として	同朋学報	4 号
506	一九五七	日野環	「教行証」研究の方法論的反省	大谷学報	37 巻 2 号
507	一九五七	森西洲	「教行信証」に於ける「真実」と「方便」	東海仏教	3 輯
508	一九五七	大江淳誠	行信両巻の見方について 安井広度氏の所説に對して	真宗研究	3 輯

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
509	一九五七	常磐井堯祺	教行信証の校勘(9)	高田学報	41輯
510	一九五七	稲葉秀賢	教行信証について(下)	親鸞聖人論攷	6・7合 併号
511	一九五七	雲村賢淳	教義と教化 主として広・略二本の対比に就いて	親鸞聖人論攷	6・7合 併号
512	一九五七	森西洲	教行信証と蓮如上人	親鸞聖人論攷	6・7合 併号
513	一九五八	雲村賢淳	「教行信証」の撰述意趣と組織について	印度学仏教学研究	6巻2号
514	一九五八	宮本正尊	親鸞の帰本願と教行信証の構造	印度学仏教学研究	6巻2号
515	一九五八	安井広度	教行信証に於ける大行について 大江教授に应う	同朋学報	5号
516	一九五八	大江淳誠	真仏土と行文類	真宗学	19号
517	一九五八	石田慶和	信樂の立場 「教行信証」の哲学的考察	宗教研究	15632巻1輯
518	一九五八	森西洲	教行信証の証巻と真仏土巻の対応関係	東海仏教	4輯
519	一九五八	佐々木求巳	坂東本教行信証相伝史の一鍵	日本仏教	2号
520	一九五八	山田博道	広略二典の行信論	宗学院研究発表	
521	一九五九	大原性実	信巻別撰反論拾遺	真宗学	20号
522	一九五九	結城令聞	三たび教行信証の信巻別撰を論ず 行信両巻の見方について 再び安井講師の所説に対する	印度学仏教学研究	7巻2号
523	一九五九	大江淳誠	教行信証に記載の「元仁元年」について	龍谷大学論集	362号
524	一九五九	細川行信	延文五年覚念書写教行信証について	高田学報	45輯
525	一九五九	平松令三	教行信証化巻概観	高田学報	45輯
526	一九五九	森西洲	「教行信証」に於ける真実行の意義	東海仏教	5輯
527	一九五九	稲葉秀賢		同朋学報	6号

	掲 載 年 月 日	著 者 名	論 文 名	雑 誌 名	巻数(号数)
528	一九五九 昭和34・7・5	山田博道	広略二典の行信について	真宗学	21号
529	一九五九 昭和34・12・15	臼井元成	信巻三信釈の教理的背景	大谷学報	39巻3号
530	一九五九 昭和34・12・25	光岡慈昭	顕浄土方便化身土文類六末の研究	佐賀龍谷学会紀要	7号
531	一九六〇 昭和35・1・20	石田慶和	信楽の論理 「教行信証」の哲学的考察	哲学研究	40巻第9冊 第467号
532	一九六〇 昭和35・1・25	石田充之	再び教行信証の成立問題について	印度学仏教学研究	8巻1号
533	一九六〇 昭和35・1・25	石田充之	教行信証の御製作について	真宗学	22号
534	一九六〇 昭和35・3・15	森西洲	教行信証に於ける雑行雜修	宗教研究	162号
535	一九六〇 昭和35・3・15	結城令聞	信巻別撰反論拾遺に答え、併わせて拾遺の見解を評す(一)	日本仏教	7号
536	一九六〇 昭和35・3・15	松野純孝	「教行信証」所引の阿弥陀経義疏の文	日本仏教	7号
537	一九六〇 昭和35・3・25	金戸守	教行信証に引かれた論語季路事鬼神章について	四天王寺学園女子短期大学研究紀要	2号
538	一九六〇 昭和35・5・25	結城令聞	信巻別撰説反論拾遺に答え、併わせて拾遺の見解を評す(二)	日本仏教	8号
539	一九六〇 昭和35・6・20	多屋頼俊	書評・金子大栄著口語訳教行信証	大谷学報	40巻1号
540	一九六〇 昭和35・10・20	雲村賢淳	「教行信証」研究序説 構造の問題	真宗研究	5輯
541	一九六〇 昭和35・11・20	梅原真隆	信文類の中心問題(上)	顕真学苑論集	51号
542	一九六〇 昭和35・12・16	瓜生津隆雄	教行信証と歎異抄	龍谷大学論集	併355号・366号合
543	一九六〇 昭和35・12・16	月輪賢隆	教行信証引用の華嚴経梵文について	龍谷大学論集	併355号・366号合
544	一九六一 昭和36・1・25	古田紹欽	教行信証に於ける善の問題	印度学仏教学研究	9巻1号
545	一九六一 昭和36・3・15	日野環	願念寺蔵教行信証化身土巻延書本の検討と或る臆説	大谷大学研究年報	13集
546	一九六一 昭和36・3・20	山田亮賢	教行信証後序期引用華嚴経偈について	大谷学報	40巻4号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
547	一九六一	熊田健二	教行信証の研究試論	秋田大学学芸学部研究紀要	11集
548	一九六一	古田紹欽	顕浄土真実教行証文類に於ける化身土巻の意義	日本仏教学会年報	26号
549	一九六一	後藤興善	親鸞聖人漢文著作四典の製作期の前後について	高田学報	48輯
550	一九六一	桐溪順忍	行巻の称名に就いて	真宗研究	6輯
551	一九六一	藤谷秀道	教行信証の不退位について	真宗研究	6輯
552	一九六一	森西洲	教行信証延書について	真宗研究	6輯
553	一九六一	西本龍山	信巻御引用の涅槃經梵行品文の闕略について	大谷学報	41巻2号
554	一九六一	羽塚堅子	行巻六字釈の帰命の字訓	大谷学報	41巻2号
555	一九六一	日野環	教行信証の本質とその展開の様態	大谷学報	41巻2号
556	一九六一	森西洲	教行信証の構造	大谷学報	41巻2号
557	一九六一	山口淳有	生気ある仏教音楽・覚え書 教行信証・和讃に関連して	高田学報	49輯
558	一九六一	神子上恵龍	広略二典に於ける教義上の特色 広前略後説の一考察	真宗学	25・26号
559	一九六一	村上速水	「教行信証」の書かれている立場	龍谷大学論集	368号
560	一九六一	金子大栄	教巻研究 浄土真宗	教化研究	35号
561	一九六一	仲野良俊	教巻研究 人間の変革・教巻によって	教化研究	35号
562	一九六一	蓬茨祖運	教巻研究 出世本懐	教化研究	35号
563	一九六一	曾我量深	教巻研究 真実の教	教化研究	35号
564	一九六一	大河内了悟	教巻研究 教巻の問題	教化研究	35号
565	一九六一	高原寛正	教巻研究 浄土教の課題	教化研究	35号



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
566	一九六二 昭和37・2・20	二十二鉄鎧	教巻研究 「教の巻」を中心として 本願の宗教とメシアの思想発展・本典	教化研究	35号
567	一九六二 昭和37・2・20	蓬茨祖連	教巻研究 浄土文類聚鈔講義2	教化研究	35号
568	一九六二 昭和37・5・20	結城令聞・古田 紹欽・松野純孝	日本仏教の課題 「教行信証」などの諸問題をめぐって	日本仏教	13号
569	一九六二 昭和37・6・1	森西洲	教行信証教巻について	東海仏教	8輯
570	一九六二 昭和37・7・1	小串侍	坂東本「御本書」の元仁元年に就いて	同朋学報	8・9合併号
571	一九六二 昭和37・9・30	岩田繁三	「教行証文類」の成立過程における「元仁元年」	真宗研究	7輯
572	一九六二 昭和37・10・15	岩田繁三	「本典」より「略文類」への動き	高田学報	50輯
573	一九六二 昭和37・10・15	真岡慶心	高田派に於ける教行信証の講述について	高田学報	50輯
574	一九六二 昭和37・12・10	日野環	「教行信証」の教巻の標拳について	親鸞教学	1号
575	一九六三 昭和38・3・1	金子大栄	「教行信証」の性格	大谷学報	42巻4号
576	一九六三 昭和38・3・1	日野環	「教行信証」教巻標拳の文の在り方とそれについての思索	大谷学報	42巻4号
577	一九六三 昭和38・3・31	三木照国	三経義疏と教行信証	印度学仏教学研究	11巻2号
578	一九六三 昭和38・9・1	日野環	「教行信証六要鈔」の「所依本」の性格についての検討	大谷学報	43巻1号
579	一九六三 昭和38・	大江淳誠	本典の基本問題	宗学院研究発表	
580	一九六三 昭和38・	神子上恵龍	本典研鑽集記の思い出	宗学院研究発表	
581	一九六四 昭和39・2・1	臼井元成	教行信証における三一問答の特質	大谷学報	43巻3号
582	一九六四 昭和39・3・31	日野環	「教行信証六要鈔」の「所依」本についての検討	印度学仏教学研究	12巻2号
583	一九六四 昭和39・3・31	伊東慧明	書評 曾我量深著教行信証「信の巻」聴記について	大谷学報	43巻4号
584	一九六四 昭和39・7・1	石田充之	義 教行信証における「真仏弟子釈」の宗教思想的意義	龍谷大学論集	376号



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
585	一九六四 昭和39・7・10	金戸守	教行信証所引の論語と後序について	四天王寺学園女子短期大学研究紀要	6号
586	一九六四 昭和39・7・20	二村竜華	教行信証における「雑」の意味	親鸞教学	4号
587	一九六四 昭和39・8・20	岩田繁三	「教行証文類」の成立とその思想的展開	高田学報	52輯
588	一九六五 昭和40・3・15	瀧岡孝昭	西本願寺本「教行証文類」成立考	帯広大谷短期大学紀要	3号
589	一九六五 昭和40・3・25	熊田健二	親鸞における信の問題 教行信証の研究・試論Ⅱ	秋田大学学芸学部研究紀要	15集
590	一九六五 昭和40・3・31	稲葉秀賢	「教行信証」と「浄土文類聚鈔」との関聯	大谷学報	44巻4号
591	一九六五 昭和40・6・25	金子大栄	二部作「教行信証」	親鸞教学	6号
592	一九六五 昭和40・9・1	武内義範	教行信証と歎異抄	理想	388号
593	一九六五 昭和40・9・1	小林芳規	鎌倉時代語史料としての草稿本教行信証古点	東洋大学大学院紀要	2集
594	一九六五 昭和40・11・20	竹中誠一	「顕浄土真実教行証文類」に於ける原初期より前期への成立過程	高田学報	55輯
595	一九六五 昭和40・11・25	藤沢桂珠	化身土文類に於ける観経の顕彰隠密義について	宗学院論集	復刊第37号
596	一九六五 昭和40・12・10	金子大栄	願心の廻向と光明の摂化 二部作「教行信証」(続)	親鸞教学	7号
597	一九六五 昭和40・12・10	宮本正尊	教行信証と仏教	親鸞教学	7号
598	一九六五 昭和40・12・25	小野正康	親鸞「教行信証」行巻の主要問題についての日本学的構想	印度学仏教学研究	14巻1号
599	一九六六 昭和41・2・20	池本重臣	親鸞教学の教理史的研究 本典と大無量寿経教行信証に於ける転釈について(真宗同学会大会発表要旨)	真宗学	33・34合併号
600	一九六六 昭和41・3・31	稲葉秀賢	「教行信証」(親鸞撰述)の「文明古写本」について	大谷学報	45巻4号
601	一九六六 昭和41・3・31	日野環	「教行信証」(親鸞撰述)の「文明古写本」について	印度学仏教学研究	14巻2号
602	一九六六 昭和41・3・31	幡谷明	教行信証における無上涅槃の意義 特にその思想史的背景を中心として	日本仏教学会年報	31号
603	一九六六 昭和41・7・1	金子大栄	諸仏と善知識 二部作「教行信証」(三)	親鸞教学	8号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
604	一九六六 昭和41・12・5	佐々木求己	教行信証開版に関する二三の問題に就いて	真宗研究	11輯
605	一九六六 昭和41・12・25	小野正康	親鸞「教行信証」信巻の主要問題についての日本学的構想	印度学仏教学研究	15巻1号
606	一九六七 昭和42・2・23	奥野秀道	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の一代仏教観	宗学院論集	38号
607	一九六七 昭和42・2・23	灘本愛慈	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の成仏道―行証を中心として―	宗学院論集	38号
608	一九六七 昭和42・2・23	岩崎正衛	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗学における信の性格	宗学院論集	38号
609	一九六七 昭和42・2・23	山本一雄	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の现实生活に及ぼす意義	宗学院論集	38号
610	一九六七 昭和42・2・23	藤下洸養	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の人間観	宗学院論集	38号
611	一九六七 昭和42・2・23	吉川昭丸	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗における往生成仏の意義	宗学院論集	38号
612	一九六七 昭和42・2・23	柳川巧	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗における救済の原理	宗学院論集	38号
613	一九六七 昭和42・2・23	秀野大衍	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗方便論序説	宗学院論集	38号
614	一九六七 昭和42・2・23	三木照国	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗より見たる邪教の性格	宗学院論集	38号
615	一九六七 昭和42・2・23	岡亮二	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 「略論安楽浄土義」の一考察(曇鸞撰述説をめぐって)	宗学院論集	38号
616	一九六七 昭和42・2・23	梯実円	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 日本浄土教に於ける菩提心釈の展開	宗学院論集	38号
617	一九六七 昭和42・2・23	徳永道雄	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として、 親鸞聖人における恩の意義	宗学院論集	38号
618	一九六七 昭和42・3・25	古田武彦	坂東本の史料科学的研究 教行信証成立論の新基礎 として	仏教史学	13巻1号
619	一九六七 昭和42・6・15	杉山義昭	信文類菩提心釈	龍谷教学	2号
620	一九六七 昭和42・6・15	泉覚性	行巻の標竿に就て 御草稿本を中心に	龍谷教学	2号
621	一九六七 昭和42・7・20	蓬茨祖運	真宗の原点 教行信証をとおして	教化研究	54号
622	一九六七 昭和42・7・25	瀧岡孝昭	国宝本「教行信証文類」の改稿と完成	帯広大谷短期大学 紀要	4号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
641	一九七〇	北山寛	坂東本私釈中の「イフ」の用法	真宗研究会紀要	2号
640	一九七〇	松原祐善	教行信証の歴史観	大谷学報	50巻1号
639	一九七〇	小林昭英	「教行信証」の撰述について	宗学院論集	40号
638	一九七〇	宮本正尊	教行信証の基本構造・自釈・文類・自伝	印度学仏教学研究	18巻2号
637	一九七〇	仁科弘	「教行信証」における行の意義	哲学	21集
636	一九六九	小川貫弐	草本「教行信証」の異筆者	印度学仏教学研究	18巻1号
635	一九六九	昭和44・12・25 小野正康	親鸞「教行信証」「化身土巻」の主要問題についての日本学的構想	印度学仏教学研究	18巻1号
634	一九六九	昭和44・12・25 石原斌夫	「教行信証」における三心と真実の関係	印度学仏教学研究	18巻1号
633	一九六九	昭和44・6・30 冷泉勝英	行文類における六字釈	龍谷教学	4号
632	一九六九	昭和44・3・30 神戸和磨	開覚仏性について とくに「教行信証」「真仏土巻」を中心として	東海仏教	13輯
631	一九六九	昭和44・3・30 石原斌夫	「教行信証」における信の構造について 本典の解明に先立って	東海仏教	13輯
630	一九六八	昭和43・12・25 石原斌夫	「教行信証」に於ける信成立の構造―第二回心論序説―	印度学仏教学研究	17巻1号
629	一九六八	昭和43・12・25 瀬川豊	「教行信証」に於ける行信の基盤―特に二種深信について―	印度学仏教学研究	17巻1号
628	一九六八	昭和43・12・25 小林昭英	「教行信証」と「本典」の思想交渉―特に行信論を中心として―	印度学仏教学研究	17巻1号
627	一九六八	昭和43・12・25 小野正康	親鸞「教行信証」「真仏土巻」の主要問題についての日本学的構想	印度学仏教学研究	17巻1号
626	一九六八	昭和43・11・30 普賢晃寿	法然浄土教と「教行信証」	龍谷大学論集	387号
625	一九六八	昭和43・6・10 武内義範	宗教的行為としての「大行」「教行信証」の一考察	親鸞教学	12号
624	一九六八	昭和43・2・1 古田武彦	原教行信証の成立―元仁元年問題の史料科学的研究―	東北大学日本思想史研究	2号
623	一九六七	昭和42・12・25 小野正康	親鸞「教行信証」証巻の主要問題についての日本学的構想	印度学仏教学研究	16巻1号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
642	一九七〇	佐長泰教	広前略後説に対する疑問	真宗研究会紀要	2号
643	一九七〇	神戸和磨	救済の本願と悉有仏性の自覚 「教行信証」「真仏土巻」を中心にして	同朋学報	23号
644	一九七〇	服部薫夫	親鸞の人生観 教行信証信の巻を中心として	中村学園研究紀要	3号
645	一九七〇	石田慶和	「教行信証」論考(二)——「権化」と「宿縁」——	京都女子大学人文論叢	19号
646	一九七〇	重見一行	教行信証行巻頭注に関する二三の私見	中世文芸	48号
647	一九七〇	石田充之	「教行信証」のもつ歴史的現実性	印度学仏教学研究	19巻1号
648	一九七〇	石原斌夫	「教行信証」における菩提心	印度学仏教学研究	19巻1号
649	一九七〇	小野正康	親鸞主著「教行信証」全六巻を順次読み終ったの日本学的通論兼小「疑問」	印度学仏教学研究	19巻1号
650	一九七〇	浜田耕生	「教行信証」における「智慧」——真仏土巻・化身土巻の場合——	印度学仏教学研究	19巻1号
651	一九七一	仁科弘	「教行信証」における信の意義	倫理学年報	20集
652	一九七一	大河内了悟	行信二巻に於ける二つの愚考 一人二位の念仏と信巻の本末無分	親鸞教学	18号
653	一九七一	小野正康	親鸞主著「教行信証」以後の主要問題についての日本学的構想	印度学仏教学研究	20巻1号
654	一九七一	瀬川豊	「教行信証」の「真実証」に基づく実相の説明	印度学仏教学研究	20巻1号
655	一九七一	石原斌夫	「教行信証」における菩薩	印度学仏教学研究	20巻1号
656	一九七二	五十嵐明宝	「教行信証」における現生正定聚思相の形成と意義について	大東文化大学紀要	10号
657	一九七二	重見一行	浄得寺本「教行信証」の本文に就いて	中世文芸	50号
658	一九七二	石田慶和	「教行信証」論考(二)——「教巻」の根本問題——	京都女子大学人文論叢	21号
659	一九七二	安藤俊雄	義教行信証の研究・『教行信証』の仏教思想上の意義	親鸞教学	21号
660	一九七二	金子大栄	教行信証の研究・行信論	親鸞教学	21号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
661	一九七二	稲葉秀賢	教行信証の研究・『教行信証』と『選択集』	親鸞教学	21号
662	一九七二	松原祐善	教行信証の研究・真実教の開頭―『大無量寿経』の 仏教史観―	親鸞教学	21号
663	一九七二	安田理深	教行信証の研究・根本願・根本言	親鸞教学	21号
664	一九七二	臼井元成	教行信証の研究・光明・名号の因縁	親鸞教学	21号
665	一九七二	本多弘之	教行信証の研究・瞬間と持続―行の一念を問う―	親鸞教学	21号
666	一九七二	安富信哉	教行信証の研究・真実信への展開―別序の内幕に即 して―	親鸞教学	21号
667	一九七二	栗原行信	教行信証の研究・群生海のこころ	親鸞教学	21号
668	一九七二	幡谷明	教行信証の研究・真宗教判論序説―親鸞の菩提心論 を中心として―	親鸞教学	21号
669	一九七二	大門照忍	教行信証の研究・現生利益の考察―真仏弟子の諸問 題―	親鸞教学	21号
670	一九七二	小林光紀	教行信証の研究・唯除の機	親鸞教学	21号
671	一九七二	寺川俊昭	教行信証の研究・願生の仏道―法蔵の願心への呼応	親鸞教学	21号
672	一九七二	林一宗	教行信証の研究・本願力廻向	親鸞教学	21号
673	一九七二	小野蓮明	教行信証の研究・還相廻向の問題	親鸞教学	21号
674	一九七二	江上淨信	教行信証の研究・本願酬報の意義	親鸞教学	21号
675	一九七二	藤原幸章	教行信証の研究・宗祖の三経観―特に隠顕釈によっ て―	親鸞教学	21号
676	一九七二	伊東慧明	教行信証の研究・内観道の実践	親鸞教学	21号
677	一九七二	横超慧日	教行信証の研究・仏性論上から見た親鸞の地位	親鸞教学	21号
678	一九七二	赤松俊秀	教行信証の研究・鎌倉仏教の成立と『教行信証』	親鸞教学	21号
679	一九七二	西谷啓治	教行信証の研究・現代と仏教	親鸞教学	21号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
680	一九七二 昭和47・12・20	曾我量深	教行信証の研究・信における未来の問題	親鸞教学	21号
681	一九七二 昭和47・12・31	石原斌夫	「教行信証」における真仏	印度学仏教学研究	21巻1号
682	一九七二 昭和47・12・31	堀隆史	化身土巻に於ける権方便の意義について	印度学仏教学研究	21巻1号
683	一九七三 昭和48・2・1	徳永大信	教行信証と歎異抄との一視点	佐賀龍谷学会紀要	併18・19号
684	一九七三 昭和48・3・20	福原亮巖	「教行信証」反駁書に対する批判	龍谷大学論集	併400・401号
685	一九七三 昭和48・3・31	石田慶和	「教行信証」「教巻」の根本問題	宗教研究	214号
686	一九七三 昭和48・6・25	騰瑞夢	「教行信証」と「涅槃経」	宗学院論集	41号
687	一九七三 昭和48・7・31	武内義範	行為と信仰「教行信証」における行信の問題	宗教研究	215号
688	一九七三 昭和48・10・1	石田慶和	「教行信証」の哲学的考察「行巻」をめぐって	理想	485号
689	一九七三 昭和48・11・1	寺倉襄	「教行信証」と「御文」の交渉	同朋仏教	5号
690	一九七三 昭和48・12・31	小林昭英	「行巻」の他力釈	印度学仏教学研究	22巻1号
691	一九七三 昭和48・12・31	石原斌夫	「教行信証」における称名(その一)	印度学仏教学研究	22巻1号
692	一九七三 昭和48・12・31	岡亮二	「教行信証」信巻別撰論再考	印度学仏教学研究	22巻1号
693	一九七四 昭和49・3・25	五十嵐明宝	「教行信証」における真実と方便	武蔵野女子大学紀要	9巻
694	一九七四 昭和49・3・25	水口縁	化身土巻の批判精神	真宗研究会紀要	5号
695	一九七四 昭和49・3・25	埜上孝志	「教行信証」に於ける総序・教巻について	真宗研究会紀要	5号
696	一九七四 昭和49・3・25	原田英道	行巻「六字釈」に於ける親鸞の称名念仏行の理解について	真宗研究会紀要	5号
697	一九七四 昭和49・3・25	真田英隆	「行巻」における一乗海釈について	真宗研究会紀要	5号
698	一九七四 昭和49・3・25	竹中論	「行巻」における真実行についての一視点 善導・法然の伝承を中心として	真宗研究会紀要	5号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
699	一九七四 昭和49・3・30	橋本芳契	真実と方便「教行信証について」	宗教研究	218号
700	一九七四 昭和49・4・25	重見一行	教行信証正応四年出版に関する書誌学的考証	国語国文	43巻4号
701	一九七四 昭和49・6・1	重見一行	教行信証「完成」に関する書誌学的考証	国文学攷	64号
702	一九七四 昭和49・6・20	岩城知行	親鸞に於ける真仮論「教行信証」の構造	親鸞教学	24号
703	一九七四 昭和49・6・30	北山覚	親鸞撰述における引用文の研究「教行信証」の引用文研究序説―文類考―	龍谷大学仏教文化研究紀要	13集
704	一九七四 昭和49・6・30	重見一行	西本願寺本教行信証についてその書誌学的考察	仏教史学研究	16巻2号
705	一九七四 昭和49・11・25	岡亮二	「行巻」にみる引文の考察(一) 龍樹の諸引文	真宗学	51号
706	一九七四 昭和49・12・25	小林昭英	法然の時代背景と「教行信証」	印度学仏教学研究	23巻1号
707	一九七四 昭和49・12・25	石原斌夫	「教行信証」における称名(その2)	印度学仏教学研究	23巻1号
708	一九七五 昭和50・1・20	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(一)	宗学院論集	42号
709	一九七五 昭和50・6・30	高橋功	「教行信証」の論理特にその思想的意義について	奥洲大学紀要	8巻1号
710	一九七五 昭和50・6・30	信国精一	信巻「引用」の「涅槃経」の深旨 阿闍世王の獲信と現代	龍谷教学	10号
711	一九七五 昭和50・8・25	真田英隆	「教行信証」の輪説会「逆誘除取釈」を中心に	真宗研究會紀要	7号
712	一九七五 昭和50・10・1	宮本正尊	教行信証・証巻(親鸞の自釈)	月刊密教講座	1巻5号
713	一九七五 昭和50・10・30	板倉耕整	本典後序の文の史的考察	宗學院論集	43号
714	一九七五 昭和50・10・30	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(二)	宗學院論集	43号
715	一九七五 昭和50・12・25	小野正康	「教行信証」三序文を原点とする縦の「事・理・人」なる重層制の日本学的講想	印度学仏教学研究	24巻1號
716	一九七五 昭和50・12・25	石原斌夫	「教行信証」における称名(その3)	印度学仏教学研究	24巻1號
717	一九七六 昭和51・3・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(三)	宗学院論集	44号



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
718	一九七六	重見一行	専修寺本教行信証に関する書誌学的考察	仏教史學研究	18巻2号
719	一九七六	藤原幸章	教行信証「後序」について特に「主上臣下背法違義成忿結怨」を中心に	親鸞教学	28号
720	一九七六	阿満利磨	親鸞における「方便化身土」について	思想	8号
721	一九七六	高橋壮	江戸時代の仏教学 香月院深励の「教行信証議義」を中心に	理想	9月号
722	一九七六	藤元正樹	問われる真宗教団の意義 化身土巻をとおして	教化研究	77号
723	一九七六	早島鏡正	小鹿義晃校「諸本対校教行信証上下」(書評と紹介)	鈴木學術財団研究 年報	12・13号
724	一九七六	林智康	「教行信証」における「論註」の引用について	宗学院論集	45号
725	一九七六	石田雅文	「教行信証」と善導浄土教―「行巻」における善導教義の意義―	宗学院論集	45号
726	一九七六	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(四)	宗学院論集	45号
727	一九七六	小島叡成	教行信証における化身土末巻の位置	同朋仏教	併号 9・10合
728	一九七六	稲葉秀賢	真と仮、真と偽の分界	同朋仏教	併号 9・10合
729	一九七六	池田勇諦	「方便」の意義	同朋仏教	併号 9・10合
730	一九七六	寺倉襄	宗祖の神祇観	同朋仏教	併号 9・10合
731	一九七六	宇治谷祐顕	化身土巻における天神地祇 特に大集経月藏分との比較交渉を中心として	同朋仏教	併号 9・10合
732	一九七六	神戸和磨	「教行信証」にあらわれた「魔」の意味	同朋仏教	併号 9・10合
733	一九七六	浜田耕生	鬼神の考察 「化身土末巻」引用經典を中心にして	同朋仏教	併号 9・10合
734	一九七六	武田賢寿	真宗と戒律	同朋仏教	併号 9・10合
735	一九七六	畝部俊英	「菩薩戒経」の背景 「大阿弥陀経」の帝王観の行方をめぐっての試論	同朋仏教	併号 9・10合
736	一九七六	織田顕信	神仏習合について 岸部本「真仏因縁」の紹介	同朋仏教	併号 9・10合



	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
737	一九七六	織田顕信	故岸部武利氏所蔵「真仏因縁」(仮題)	同朋仏教	併9・10合
738	一九七六	吉田昇代	「愚禿悲歎述懐和讃」研究序説「化身土末巻」との関係において	同朋仏教	併9・10合
739	一九七六	小串侍	御本書後序に就いて	同朋仏教	併9・10合
740	一九七六	諏訪義讓	清沢・住田両先生の出遇い その追憶と宗学	同朋仏教	併9・10合
741	一九七六	結城令聞	教行信証と文類聚鈔との前後問題―信巻別撰説に關連せしめて―	印度学仏教学研究	25巻1号
742	一九七六	石原斌夫	「教行信証」における称名(その4)	印度学仏教学研究	25巻1号
743	一九七七	広瀬杲	「竊以」の教学―「教行信証」における三序の意義	大谷大学研究年報	29集
744	一九七七	神戸和磨	「教行信証」にあらわれた「魔」の意味	印度学仏教学研究	25巻2号
745	一九七七	尾畑文正	教行信証化身土末巻の研究	同朋大学論叢	36号
746	一九七七	原田双栄	化巻菩薩戒經の引文について	龍谷教学	12号
747	一九七七	松原祐善	金子大栄先生を追憶して 金子先生と「教行信証」	親鸞教学	30号
748	一九七七	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(五)	宗学院論集	46号
749	一九七七	林智康	「選択集」と「教行信証」	東洋思想	3巻1号
750	一九七七	宮本正尊	教行信証の思想的考察	真宗教学研究	創刊号
751	一九七七	橋本芳契	世親の浄土観試論 「教行信証」「証巻」所出の維摩經説について	真宗研究	22輯
752	一九七七	小妻道生	行巻における諸仏についての一考察	真宗研究	22輯
753	一九七七	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(六)	宗学院論集	47号
754	一九七七	岡亮二	「行巻」にみる引文の考察(二) 龍樹の諸引文・統	真宗学	57号
755	一九七七	石原斌夫	「教行信証」と「文類聚鈔」の関係	印度学仏教学研究	26巻1号

	掲 載 年 月 日	著 者 名	論 文 名	雑 誌 名	巻数(号数)
774	一九七八 昭和53・12・31	石原斌夫	「教行信証」と「文類聚鈔」の関係(一)	印度学仏教学研究	27巻1号
773	一九七八 昭和53・12・1	小山正文	本証寺本「教行信証」の歴史的考察	安城歴史研究	4号
772	一九七八 昭和53・12・1	寺倉襄	「信巻」所明の多様性	同朋大学論集	39号
771	一九七八 昭和53・12・1	日野岳唯照	「教行信証」を選述された親鸞の精神 修員レポートより(1)本願に帰す	現代教学	5号
770	一九七八 昭和53・12・1	本沢浩	「教行信証」を選述された親鸞の精神 修員レポートより(1)三序の拝読を通して	現代教学	5号
769	一九七八 昭和53・12・1	杉浦友信	「教行信証」を選述された親鸞の精神 修員レポートより(1)末法における仏弟子	現代教学	5号
768	一九七八 昭和53・12・1	宗正元	「教行信証」を学ぶにあたって	現代教学	5号
767	一九七八 昭和53・11・20	安田理深	『教行信証』三序―「教行信証」三序について	教化研究	82号
766	一九七八 昭和53・11・20	一樂典次	「教行信証」三序―非僧非俗という名告りのもつ意味	教化研究	82号
765	一九七八 昭和53・11・20	池田勇諦	「教行信証」三序―真宗の行証像 後序の位置と意義	教化研究	82号
764	一九七八 昭和53・11・20	東現行	「教行信証」三序―別序について ここに愚禿釈の親鸞	教化研究	82号
763	一九七八 昭和53・11・20	西田真因	「教行信証」三序―信の概念 聖の苦悩の克服としての信	教化研究	82号
762	一九七八 昭和53・11・20	小野蓮明	「教行信証」三序―行信の大道 「教行信証」総序に聞く	教化研究	82号
761	一九七八 昭和53・11・20	幡谷明	「教行信証」三序―真実教の開顕 浄土三経の序分に関する一考察	教化研究	82号
760	一九七八 昭和53・11・20	広瀬 杲	「教行信証」三序―竊以の教学 「教行信証」三序講義(一)	教化研究	82号
759	一九七八 昭和53・9・1	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(七)	宗学院論集	48号
758	一九七八 昭和53・6・30	広瀬 杲	竊以の教学 「教行信証」三序講義(一)	教化研究	81号
757	一九七八 昭和53・4・30	宮城顥	仏道に生きる 「教行信証」題号釈(二)	教化研究	80号
756	一九七八 昭和53・2・20	西山光憲	「教行信証」教巻の真実について	印度学仏教学研究	26巻2号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
775	一九七九 昭和54・3・10	蓬茨祖連	「教行信証」を書いた親鸞	教化研究	83号
776	一九七九 昭和54・3・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(八)	宗学院論集	49号
777	一九七九 昭和54・3・31	重見一行	坂東本「教行信証」成立時期再考	真宗研究	23輯
778	一九七九 昭和54・3・31	西山光憲	「行」の一考察―「教行信証」行巻について―	印度学仏教学研究	27巻2号
779	一九七九 昭和54・3・31	林智康	「教行信証」と「大無量寿経」	印度学仏教学研究	27巻2号
780	一九七九 昭和54・3・31	五十嵐明宝	「教行信証」における慈悲と智慧―比較思想的考察―	印度学仏教学研究	27巻2号
781	一九七九 昭和54・5・10	石田慶和	「教行信証」論考 「証巻」の根本問題	龍谷大学論集	414号
782	一九七九 昭和54・6・30	岡亮二	「教行信証」「行巻」の研究 六字釈を中心に	仏教文化研究所紀要	18集
783	一九七九 昭和54・6・30	教研東京分室	解説化身土末巻(1)	教化研究	84号
784	一九七九 昭和54・10・31	教研東京分室	解説化身土末巻(2)	教化研究	85号
785	一九七九 昭和54・12・1	小島叡成	「本典」の組織と教義大綱	同朋大学論叢	41号
786	一九七九 昭和54・12・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(九)	宗学院論集	50号
787	一九七九 昭和54・12・31	菊村紀彦	「教行信証」における空性の問題	印度学仏教学研究	28巻1号
788	一九七九 昭和54・12・31	五十嵐大策	「教行信証」行信両巻の見方	印度学仏教学研究	28巻1号
789	一九八〇 昭和55・2・20	大沢忍	国宝「灌頂曆名」と「教行信証」に見る修理保存の問題	神戸女子大学紀要 家政学部篇	10巻
790	一九八〇 昭和55・2・20	寺川俊昭	「教行信証」製作の志願	宗教研究	242号
791	一九八〇 昭和55・2・28	小妻道生	教行二巻と如来の智慧海	真宗研究	24輯
792	一九八〇 昭和55・2・28	藤谷大圓	教行信証の教行関係(一)	真宗研究	24輯
793	一九八〇 昭和55・2・29	教研東京分室	解説化身土末巻(3)	教化研究	86号

	掲載年月日	著者名	論文名	雑誌名	巻数(号数)
794	一九八〇	野村伸夫	信巻の分析	真宗研究会紀要	13号
795	一九八〇	今岡達音	正しく「観經の私記」と「教行信証」とに明かす心と行とを比較す	浄土学	2巻
796	一九八〇	林智康	「選択集」と「教行信証」	研究論集	24号
797	一九八〇	蘭慧龍	御本典総序の文を仰いで	龍谷教学	15号
798	一九八〇	教研東京分室	解読化身土末巻(4)	教化研究	88号
799	一九八〇	岡亮二	「行巻」行一念釈の一考察	龍谷大学論集	417号
800	一九八一	教研東京分室	解読化身土末巻(5)	教化研究	89号
801	一九八一	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(十)	宗学院論集	51号
802	一九八一	小柴木輝之	『教行信証』	日本仏教史学	16号
803	一九八一	小妻道生	信巻・三番解釈における悪と善について	高田学報	69輯
804	一九八一	岡亮二	「行巻」六字釈の一考察	印度学仏教学研究	29巻2号
805	一九八一	梯実円	興福寺奏状と教行信証	伝道院紀要	25・26合刊号
806	一九八一	石田充之	「教行信証」御開題の意趣について	龍谷教学	16号
807	一九八一	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(十一)	宗学院論集	52号
808	一九八一	教研東京分室	解読化身土末巻(終)	教化研究	90号
809	一九八一	宮本正尊	親鸞「教行信証」行巻「教と機の絶対不二観」	印度学仏教学研究	30巻1号
810	一九八二	野部了衆	『教行信証』に見られる『華嚴經』の引文について	聖徳学園女子短期大学紀要	8集

(B)掲載雑誌別一覧表  
——雑誌名五十音順一覧表——

雑誌名	発行所	頁数	雑誌名	発行所	頁数
秋田大学学芸部研究紀要	秋田大学付属図書館	一七四頁	現代仏教	大雄閣書房	一七九頁
安城歴史研究		一七四頁	現代仏教	現代仏教社	一七九頁
印度学仏教学研究	日本印度学仏教学学会	一七四頁	神戸女子大学紀要・家政学部篇	神戸女子大学学会	一七九頁
奥州大学紀要	奥州大学学術研究会	一七六頁	国語国文	中央図書出版社	一八〇頁
大谷学報	大谷学会	一七六頁	国文学攷	広島大学国語国文学会	一八〇頁
大谷大学研究年報	大谷学会	一七六頁	佐賀龍谷学会紀要	佐賀龍谷学会	一八〇頁
帯広大谷短期大学紀要	帯広大谷短期大学	一七七頁	僧伽	相応学舎	一八〇頁
教学	法蔵館	一七七頁	三宝叢誌	令和会	一八〇頁
教化研究	教化研究所	一七七頁	史学雑誌	史学会	一八〇頁
京都女子大学人文論叢	京都女子大学人文学会	一七九頁	思想	岩波書店	一八〇頁
月刊密教講座	平河出版社	一七九頁	四天王寺学園女子短期大学研究紀要	四天王寺学園女子短期大学	一八〇頁
研究論集	平安学園教育研究会	一七九頁	社会史研究	日本学術普及会	一八〇頁
顕真学苑論集	顕真学会	一七九頁	宗学院研究発表		一八一頁
顕真学報	顕真学苑	一七九頁	宗学院論輯	宗学院	一八一頁
現代教学	真宗教学研究 所東京分室	一七九頁	宗学院論集	真宗本願寺派宗学院	一八二頁

雑誌名	発行所	頁数	雑誌名	発行所	頁数
宗学研究	大谷派本願寺宗学研究会	一八三頁	全人	全人社	一八七頁
宗教研究	日本宗教学会	一八三頁	大乘	大乘社	一八九頁
浄土学	大正大学浄土学研究会	一八三頁	大世界		一八九頁
聖徳学園女子短期大学紀要	聖徳学園女子短期大学	一八三頁	大東文化大学紀要	大東文化大学	一八九頁
史林	史学研究会	一八三頁	高田学報	高田学報社	一八九頁
真宗学	龍谷大学真宗学会	一八四頁	高田教学	高田教学院	一九〇頁
真宗学会会報	真宗専門学校出版部	一八四頁	高田研究	高田史学会	一九〇頁
真宗学報	真宗専門学校出版部	一八四頁	中央史壇	国史講習会	一九〇頁
真宗教学研究	真宗同学会	一八四頁	中世文芸	広島中世文芸研究会	一九〇頁
真宗研究	真宗学研究所	一八四頁	哲学	広島哲学会	一九〇頁
真宗研究	真宗連合学会	一八四頁	哲学研究	創文社	一九〇頁
真宗研究会紀要	龍谷大学大学院真宗研究会	一八五頁	伝道院紀要	浄土真宗本願寺派出版部	一九〇頁
真宗講話	光融館	一八五頁	伝道新誌	伝道新誌社	一九〇頁
真宗論攷	真宗学会	一八五頁	東亜の光	東亜協会	一九一頁
親鸞教学	大谷大学真宗学会	一八五頁	東海仏教	東海印度学仏教学会	一九一頁
親鸞聖人研究	親鸞聖人研究発行所	一八六頁	東方	法蔵館	一九一頁
親鸞聖人論攷	大谷専修学院出版部	一八七頁	同朋学報	同朋学会	一九一頁
鈴木学術財団研究年報	鈴木学術財団	一八七頁	同朋大学論叢	同朋学会	一九一頁
精神界	浩々堂	一八七頁	東方仏教	東方仏教協会	一九一頁

雑誌名	発行所	頁数	雑誌名	発行所	頁数
同朋仏教	同朋仏教編集部	一九一頁	武蔵野女子大学紀要	武蔵野女子大学文化学会	一九六頁
東北大学日本思想史研究	東北大学文学部日本思想史学研究室	一九二頁	無尽灯社	無尽灯社	一九六頁
東洋思想	東洋思想研究会	一九二頁	聞思	大谷大学真宗学会	一九七頁
東洋大学大学院紀要	東洋大学大学院	一九二頁	理想	理想社	一九七頁
中村学園研究紀要	中村学園大学短期大学家政学会	一九二頁	龍谷学報	興教書院	一九七頁
日本仏教	大蔵出版株式会社	一九二頁	龍谷教学	龍谷教学会議	一九八頁
日本仏教学会年報	日本仏教学会西部事務所	一九二頁	龍谷史壇	龍谷大学史学会	一九八頁
日本仏教史学	日本仏教史学会	一九三頁	龍谷大学仏教文化研究所紀要	龍谷大学仏教文化研究所	一九八頁
仏教研究	大東出版社	一九三頁	龍谷大学論集	百華苑	一九八頁
仏教研究	大谷大学仏教研究会	一九三頁	龍谷大学論叢	龍谷大学論叢社	一九八頁
仏教史学	平楽寺書店	一九三頁	龍谷論叢	佐賀龍谷学会	一九九頁
仏教史学研究	仏教史学会	一九三頁	倫理学年報	日本倫理学会	一九九頁
仏教大学論叢	仏教大学論叢社	一九三頁	歴史地理	日本歴史地理学会	一九九頁
仏教文化研究所紀要	龍谷大学仏教文化研究所	一九三頁	六条学報	壬寅会	一九九頁
仏国		一九三頁			
仏座	仏座社	一九四頁			
仏道		一九六頁			
文化	岩波書店	一九六頁			
法爾	法爾	一九六頁			

掲載雑誌別一覧表

秋田大学学芸学部研究紀要

秋田大学付属図書館

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
11集	昭和36・3・25	熊田健二	教行信証の研究試論
15集	昭和40・3・25	熊田健二	親鸞における信の問題 教行信証の研究・試論Ⅱ

安城歴史研究

4号	昭和53・12・1	小山正文	本証寺本「教行信証」の歴史的考察
----	-----------	------	------------------

印度学仏教学研究

日本印度学仏教学会

1巻1号	昭和27・7・20	結城令聞	教行信証に於ける信巻別撰論攷
1巻2号	昭和28・3・25	花山信勝	教行信証論攷の其盤について
1巻2号	昭和28・3・25	結城祐昭	教行信証に於ける末法灯明記
1巻2号	昭和28・3・25	大江淳誠	教行信証信巻別撰説の批判
2巻1号	昭和28・9・30	佐々木玄智	教行信証の信巻別撰説について
2巻1号	昭和28・9・30	結城令聞	再説信巻別撰攷
2巻2号	昭和29・3・30	神子上恵龍	教行信証の思想背景
2巻2号	昭和29・3・30	小川貫弍	阪東本「教行信証」信巻の筆蹟

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
3巻1号	昭和29・9・25	石田充之	教行信証の成立問題
3巻1号	昭和29・9・25	武生讓	「教行証文類」題号の縁由に就いて
3巻1号	昭和29・9・25	禿氏祐祥	阪東本教行信証と著作過程
4巻1号	昭和31・1・30	結城令聞	選択集と教行信証との関係について
5巻1号	昭和32・1・25	石田充之	教行信証製作の意志問題より信巻別撰論の批判に及ぶ
5巻2号	昭和32・3・30	松野純孝	消息から見た坂東本「教行信証」信巻の成立問題
5巻2号	昭和32・3・30	日野環	阪東本教行信証に於て異筆を課題とする八ヶ処の筆蹟討論
6巻2号	昭和33・3・30	雲村賢淳	「教行信証」の撰述意趣と組織について
6巻2号	昭和33・3・30	宮本正尊	親鸞の帰本願と教行信証の構造
7巻2号	昭和34・3・30	結城令聞	三たび教行信証の信巻別撰を論ず
8巻1号	昭和35・1・25	石田充之	再び教行信証の成立について
9巻1号	昭和36・1・25	古田紹欽	教行信証に於ける善の問題
11巻2号	昭和38・3・31	三木照国	三経義疏と教行信証
12巻2号	昭和39・3・31	日野環	「教行信証六要鈔」の「所依本」についての検討
14巻1号	昭和40・12・25	小野小康	親鸞「教行信証」行巻の主要問題についての日本学的構想
14巻2号	昭和41・3・31	日野環	「教行信証」(親鸞撰述)の「文明古写本」について
15巻1号	昭和41・12・25	小野小康	親鸞「教行信証」信巻の主要問題についての日本学的構想
16巻1号	昭和42・12・25	小野正康	親鸞「教行信証」証巻の主要問題についての日本学的構想
17巻1号	昭和43・12・25	小野正康	親鸞「教行信証」真仏土巻の主要問題についての日本学的構想



巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
17巻1号	昭和43・12・25	小林昭英	「選択集」と「本典」の思想交渉 ——特に行信論を中心として——
17巻1号	昭和43・12・25	瀬川豊	「教行信証」に於ける行信の基盤 ——特に二種深信について——
17巻1号	昭和43・12・25	石原斌夫	「教行信証」に於ける信成立の構造 ——第二回心論序説——
18巻1号	昭和44・12・25	石原斌夫	「教行信証」における三心と真実の關係
18巻1号	昭和44・12・25	小野正康	親鸞「教行信証」「化身土卷」の主要問題についての日本学的構想
18巻1号	昭和44・12・25	小川貴弑	草本「教行信証」の異筆者
18巻2号	昭和45・3・31	宮本正尊	教行信証の基本構造・自釈・文類・自伝
19巻1号	昭和45・12・25	石田充之	「教行信証」のもつ歴史的現実性
19巻1号	昭和45・12・25	石原斌夫	「教行信証」における菩提心
19巻1号	昭和45・12・25	小野正康	親鸞主著「教行信証」全六巻を順次読み終つての日本学的通論兼小「疑問」
19巻1号	昭和45・12・25	浜田耕生	「教行信証」における「智慧」——真仏土卷・化身土卷の場合——
20巻1号	昭和46・12・31	小野正康	親鸞主著「教行信証」以後の主要問題についての日本学的構想
20巻1号	昭和46・12・31	瀬川豊	「教行信証」の「真実証」に基づく実相の説明
20巻1号	昭和46・12・31	石原斌夫	「教行信証」における菩薩
21巻1号	昭和47・12・31	石原斌夫	「教行信証」における真仏
21巻1号	昭和47・12・31	堀隆史	化身土卷に於ける権仮方便の意義について
22巻1号	昭和48・12・31	小林昭英	「行卷」の他力釈
22巻1号	昭和48・12・31	石原斌夫	「教行信証」における称名(その1)
22巻1号	昭和48・12・31	岡亮二	「教行信証」信巻別撰論再考
巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
23巻1号	昭和49・12・25	小林昭英	法然の時代背景と「教行信証」
23巻1号	昭和49・12・25	石原斌夫	「教行信証」における称名(その2)
24巻1号	昭和50・12・25	小野正康	「教行信証」三序文を原点とする縦の「事理一人」なる重層制の日本学的構想
24巻1号	昭和50・12・25	石原斌夫	「教行信証」における称名(その3)
25巻1号	昭和51・12・25	結城令聞	教行信証と文類聚鈔との前後問題——信巻別撰説に関連せしめて——
25巻1号	昭和51・12・25	石原斌夫	「教行信証」における称名(その4)
25巻2号	昭和52・3・31	神戸和磨	「教行信証」にあらわれた「魔」の意味
26巻1号	昭和52・12・31	石原斌夫	「教行信証」と「文類聚鈔」の關係
26巻2号	昭和53・3・20	西山光憲	「教行信証」教巻の真実について
27巻1号	昭和53・12・31	石原斌夫	「教行信証」と「文類聚鈔」の關係(二)
27巻2号	昭和54・3・31	西山光憲	「行」の一考察——「教行信証」行巻について——
27巻2号	昭和54・3・31	林智康	「教行信証」と「大無量寿經」
27巻2号	昭和54・3・31	五十嵐明宝	「教行信証」における慈悲と智慧——比較思想的考察——
28巻1号	昭和54・12・31	菊村紀彦	「教行信証」における空性の問題
28巻1号	昭和54・12・31	五十嵐大策	「教行信証」行信両巻の見方
29巻2号	昭和56・3・31	岡亮二	「行卷」六字釈の一考察
30巻1号	昭和56・12・31	宮本正尊	親鸞「教行信証」行卷「教と機の絶対不二観」

奥州大学紀要

奥州大学学術研究会

巻数(号数)	年 月 日	著 者 名	論 文 名
8巻1号	昭和50・6・30	高橋功	「教行信証」の論理 特にその思想的意義について

大谷学報

大谷学会

12巻1号	昭和6・1・10	武内義雄	教行信証所引弁正論に就いて
15巻1号	昭和9・1・25	禿諦住	「本典」の組織より見たる「行信」の問題に就いて
15巻4号	昭和9・12・15	禿諦住	「行信」に於ける背景の研究―その序説の一部として―
16巻3号	昭和10・10・10	禿諦住	三心釈の展開過程―「本典」の成立に関する一考察―
17巻3号	昭和11・10・1	藤谷一海	親鸞聖人の仮名遣に就て(阪東本教行信証の仮名遣を主として)
34巻4号	昭和30・3・18	稲葉秀賢	教行信証に於ける教行の関係
35巻1号	昭和30・6・30	蓬茨祖運	教行信証の思想的体系の研究
35巻4号	昭和31・3・20	日野環	「阪東本」に先行する教行証文類と信巻別撰論
36巻1号	昭和31・6・20	武生讓	別序沈迷の機について
37巻2号	昭和32・9・30	日野環	「教行証」研究の方法論的反省
39巻3号	昭和34・12・15	臼井元成	信巻三心釈の教理的背景
40巻1号	昭和35・6・20	多屋頼俊	書評・金子大栄著 口語訳教行信証
40巻4号	昭和36・3・20	山田亮賢	教行信証後序期引用華嚴経偈について
41巻2号	昭和36・10・20	西本龍山	信巻御引用涅槃経梵行品文の闕略について

巻数(号数)

年 月 日

著 者 名

論 文 名

41巻2号	昭和36・10・20	羽塚堅子	行巻六字釈の帰命の字訓
41巻2号	昭和36・10・20	日野環	教行信証の本質とその展開の様態
41巻2号	昭和36・10・20	森西洲	教行信証の構造
42巻4号	昭和38・3・1	金子大栄	「教行信証」の性格
42巻4号	昭和38・3・1	日野環	「教行信証」教巻標拳の文の在り方とそれについての思索
43巻1号	昭和38・9・1	日野環	「教行信証六要鈔」の「所依本」の性格についての検討
43巻3号	昭和39・2・1	臼井元成	教行信証における三一問答の特質
43巻4号	昭和39・3・31	伊東慧明	書評 曾我量深著教行信証「信の巻」聴記について
44巻4号	昭和40・3・31	稲葉秀賢	「教行信証」と「浄土文類聚鈔」との関聯
45巻4号	昭和41・3・31	稲葉秀賢	教行信証に於ける転釈について(真宗同学会発表要旨)
50巻1号	昭和45・6・30	松原祐善	教行信証の歴史観

大谷大学研究年報

大谷学会

1輯	昭和17・6・20	稲葉秀賢	教行信証研究序説―特にその構造に就いて―
8集	昭和30・12・30	湯岡孝昭	坂東本教行信証左訓集
13集	昭和36・3・15	日野環	願念寺蔵教行信証化身土巻延書本の検討と或る臆説
29集	昭和52・2・20	広瀬杲	「竊以」の教学―「教行信証」における三序の意義―

帯広大谷短期大学紀要

帯広大谷短期大学

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
3号	昭和40・3・15	瀧岡孝昭	西本願寺本「教行証文類」成立考
4号	昭和42・7・25	瀧岡孝昭	国宝本「教行信証」の改稿と完成

教学

法蔵館

1巻8号	昭和23・11・1	武内義範	教行信証の論理・序講
9号	昭和24・3・1	武内義範	教行信証の論理・序講

教化研究

教化研究所

7号	昭和29・12・20	正親含英	御本書講讀Ⅰ 総序讃仰
7号	昭和29・12・20	曾我量深	御本書講讀Ⅰ 真実之教
7号	昭和29・12・20	金子大栄	御本書講讀Ⅰ 大行
7号	昭和29・12・20	谷内正順	御本書講讀Ⅰ 教化時感
7号	昭和29・12・20	稲葉秀賢	御本書講讀Ⅰ 他力に就いて
7号	昭和29・12・20	武生讓	御本書講讀Ⅰ 光明名号両重の因縁
7号	昭和29・12・20	大河内了悟	御本書講讀Ⅰ 正信偈讃仰
7号	昭和29・12・20	柏原祐義	御本書講讀Ⅰ 名号のいわれ(六字釈)
7号	昭和29・12・20	柘植蘭英	御本書講讀Ⅰ 至徳の風靜かに

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
8号	昭和30・3・10	谷内正順・寺川俊昭・松谷了之・橋公正・加米と雄・共同執筆	御本書講讀Ⅱ 別序讃仰
8号	昭和30・3・10	曾我量深	御本書講讀Ⅱ 真実の信樂
8号	昭和30・3・10	武生讓	御本書講讀Ⅱ 本願と名号と信心
8号	昭和30・3・10	白井成充	御本書講讀Ⅱ 菩提心について
8号	昭和30・3・10	安井広度	御本書講讀Ⅱ 一念
8号	昭和30・3・10	蜂屋賢喜代	御本書講讀Ⅱ 聞即信
8号	昭和30・3・10	加藤智学	御本書講讀Ⅱ 真の仏弟子
8号	昭和30・3・10	松原祐善	御本書講讀Ⅱ 抑止の意義
8号	昭和30・3・10	岩見護	御本書講讀Ⅱ 現生十種の益
8号	昭和30・3・10	谷内正順	御本書講讀Ⅱ 教化時感
8号	昭和30・3・10	金子大栄	御本書講讀Ⅱ 真実証
8号	昭和30・3・10	川上清吉	御本書講讀Ⅱ 還相廻向
8号	昭和30・3・10	佐々木蓮磨	御本書講讀Ⅱ 現当両益
8号	昭和30・3・10	坂東環城	御本書講讀Ⅱ 正定の聚に住す
9号	昭和30・6・30	曾我量深	御本書講讀Ⅲ 如来と浄土
9号	昭和30・6・30	金子大栄	御本書講讀Ⅲ 真実と方便
9号	昭和30・6・30	内藤康道	御本書講讀Ⅲ 顕彰隱密
9号	昭和30・6・30	日野環	御本書講讀Ⅲ 要門と真門と弘願
9号	昭和30・6・30	藤原正圓	御本書講讀Ⅲ 罪福を信ずる心

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
9号	昭和30・6・30	常本憲雄	御本書講讃Ⅲ 信不具足
9号	昭和30・6・30	大河内了悟	御本書講讃Ⅲ 三願転入補説
9号	昭和30・6・30	武生讓	御本書講讃Ⅲ 時と教
9号	昭和30・6・30	寺田正勝	御本書講讃Ⅲ 鬼神の教
9号	昭和30・6・30	稲葉秀賢	御本書講讃Ⅲ 後序讃仰
9号	昭和30・6・30	谷内正順	御本書講讃Ⅲ 教化時感
9号	昭和30・6・30	大須賀秀道	御本書講讃Ⅲ 「同朋の書」によ
9号	昭和30・6・30	藤島達朗	御本書講讃Ⅲ 坂東本について
9号	昭和30・6・30	小野清一郎	御本書講讃Ⅲ 親鸞聖人における
35号	昭和37・2・20	金子大栄	教巻研究 浄土真宗
35号	昭和37・2・20	仲野良俊	教巻研究 人間変革・教巻によつ
35号	昭和37・2・20	蓬茨祖運	教巻研究 出世本懐
35号	昭和37・2・20	曾我量深	教巻研究 真実の教
35号	昭和37・2・20	大河内了悟	教巻研究 教巻の問題
35号	昭和37・2・20	高原寛正	教巻研究 浄土教の課題
35号	昭和37・2・20	二十二鉄鎧	教巻研究 本願の宗教とメシアの思
35号	昭和37・2・20	蓬茨祖運	教巻研究 浄土文類聚鈔講義2
54号	昭和42・7・20	蓬茨祖運	真宗の原点 教行信証をとおして
77号	昭和51・10・1	藤本正樹	問われる真宗教団の意義 化身土
巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
80号	昭和53・4・30	宮城顥	仏道に生きる「教行信証」題号釈(二)
81号	昭和53・6・30	広瀬杲	竊以の教学「教行信証」三序講義(一)
82号	昭和53・11・20	広瀬杲	竊以の教学「教行信証」三序講義(二)
82号	昭和53・11・20	幡谷明	真実教の開顕 浄土三経の序分に
82号	昭和53・11・20	小野蓮明	行信の大道「教行信証」総序に聞
82号	昭和53・11・20	西田真因	信の概念 聖の苦悩の克服として
82号	昭和53・11・20	東現行	別序について・ここに愚禿釈の親
82号	昭和53・11・20	池田勇諦	真宗の行信像 後序の位置と意義
82号	昭和53・11・20	一楽典次	非僧非俗という名告りのもつ意味
82号	昭和53・11・20	安田理深	「教行信証」三序について
83号	昭和54・3・10	蓬茨祖運	「教行信証」を書いた親鸞
84号	昭和54・6・30	教研東京分室	解説化身土末巻(1)
85号	昭和54・10・31	教研東京分室	解説化身土末巻(2)
86号	昭和55・2・29	教研東京分室	解説化身土末巻(3)
88号	昭和55・9・1	教研東京分室	解説化身土末巻(4)
89号	昭和56・1・15	教研東京分室	解説化身土末巻(5)
90号	昭和56・10・15	教研東京分室	解説化身土末巻(終)

京都女子大学人文論叢

京都女子大学人文学会

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
19号	昭和45・12・25	石田慶和	「教行信証」論考(二)——「權化」と「宿縁」——
21号	昭和47・11・25	石田慶和	「教行信証」論考(二)——「教卷」の根本問題——

月刊密教講座

平河出版社

1巻5号	昭和50・10・1	宮本正尊	教行信証・證卷(親鸞の自釈)
------	-----------	------	----------------

研究論集

平安学園教育研究会

24号	昭和55・6・25	林智康	「選択集」と「教行信証」
-----	-----------	-----	--------------

顕真学苑論集

顕真学会

51号	昭和35・11・20	梅原真隆	信文類の中心問題(上)
-----	------------	------	-------------

顕真学報

顕真学苑

3号	昭和6・3・10	梅原真隆	十住毘婆沙論と教行信証
3巻1号	昭和8・9・25	梅原真隆	教行信証に現れたる末法灯明記(因に三井淳弁氏の末法紀元の考察を批評す)
3巻1号	昭和8・9・25	玉置韜晃	「教行信証」に引用せられたる天台部釈文
3巻1号	昭和8・9・25	大原性實	教行信証に現れたる楽邦文類

巻数(号数)

年月日

著者名

論文名

3巻1号

昭和8・9・25

高千穂徹乗

教行信証に現れたる往生拾因——親鸞聖人の機根論——

現代教学

真宗教学研究所東京分室

5号	昭和53・12・1	宗正元	「教行信証」を学ぶにあたって
5号	昭和53・12・1	杉浦友信	「教行信証」を選述された親鸞の精神・東京分室研修員レポートより(1)末法における仏弟子
5号	昭和53・12・1	本沢浩	「教行信証」を選述された親鸞の精神・東京分室研修員レポートより(1)三序の拝読を通して
5号	昭和53・12・1	日野岳唯照	「教行信証」を選述された親鸞の精神・東京分室研修員レポートより(1)本願に帰す

現代仏教

大雄閣書房

10月号	昭和3・10・1	梅原真隆	教行信証と歎異鈔
------	----------	------	----------

現代仏教

現代仏教社

9月号	昭和8・9・1	水谷壽	「教行信証」の通俗的解説
10月号	昭和8・10・1	山口竹千代	殺された「信巻」「教行信証」に於ける親鸞用語「行信」をめぐりて——

神戸女子大学紀要・家政学部篇

神戸女子大学会

10巻	昭和55・2・20	大沢忍	国宝「灌頂曆名」と「教行信証」に見る修理保存の問題
-----	-----------	-----	---------------------------

国語国文

中央図書出版社

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
43巻4号	昭和49・4・25	重見一行	教行信証正応四年出版に関する書誌学的考証
32編2号	大正10・2・10	中沢見明	本願寺本教行信証奥書の史的価値に就て
33編11号	大正11・11・20	辻善之助	教行信証に関する疑問に就いて喜田博士に答ふ
34編2号	大正12・2・20	辻善之助	教行信証に関する疑問について再び喜田博士に答ふ

国文学攷

広島大学国語国文学会

思想

岩波書店

46号	昭和49・6・1	重見一行	教行信証「完成」に関する書誌学的考証
8号	昭和51・8・5	阿満利磨	親鸞における「方便化身土」について

佐賀龍谷学会紀要

佐賀龍谷学会

四天王寺学園女子短期大学研究紀要 四天王寺学園女子短期大学

7号	昭和34・12・25	光岡慈昭	顕浄土方便化身土文類六末の研究
18・19合併号	昭和48・2・1	徳永大信	教行信証と歎異抄との一視点
6号	昭和39・7・10	金戸守	教行信証に引かれた論語季路事鬼神章について
2号	昭和35・3・25	金戸守	教行信証所引の論語と後序について

僧伽

相応学舎

社会史研究

日本学術普及会

12号	昭和29・10・30	松原祐善	教行信証の製作の意向についての一反省
9巻1号	大正12・1・1	喜田貞吉	親鸞聖人と教行信証

三宝叢誌

令和会

167号	昭和31・2・23	東山半逸含潤 (前田慧雲)	化土巻所引末法灯明記中般若会釈之事
9巻3号	大正12・3・1	喜田貞吉	西本願寺蔵教行信証の複製本

史学雑誌

史学会

32編1号	大正10・1・10	中沢見明	本願寺本教行信証奥書に就て
9巻5号	大正12・5・1	喜田貞吉	本多君の「教行信証」の撰述者に就いての講演
9巻4号	大正12・4・1	喜田貞吉	辻博士の教行信証に関する再駁
9巻3号	大正12・3・1	喜田貞吉	教行信証に関する本多君の弁明

宗学院研究発表

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
9巻5号	大正12・5・1	喜田貞吉	例の教行信証誤読問題
9巻6号	大正12・6・1	喜田貞吉	「教行信証新研究号」「太上天皇」と「太上天皇に」と
9巻6号	大正12・6・1	喜田貞吉	教行信証の代作者か
10巻1号	大正12・7・1	喜田貞吉	禿氏祐祥君の教行信証考証
10巻1号	大正12・7・1	喜田貞吉	教行信証の後序原訓の解釈
10巻2号	大正12・11・1	喜田貞吉	教行信証に関する論戦と其の批判 ――梅原真隆君講演――

宗学院論輯

3	昭和30・3・	秀野大衍	本典に於ける信一念釈の意義
	昭和33・	山田博道	広略二典の行信論
	昭和38・	大江淳誠	本典の基本問題
	昭和38・	神子上恵龍	本典研鑽集記の思い出

宗学院論輯				宗学院
3輯	昭和5・5・1	宗学院同人	本典研鑽集記	
4輯	昭和5・7・25	宗学院同人	本典研鑽集記第二	
5輯	昭和6・3・1	爪生津隆雄	「教行信証大意」に於ける一問題	
5輯	昭和6・3・1	宗学院同人	本典研鑽集記第三	
7輯	昭和6・7・30	宗学院同人	本典研鑽集記第四	

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
8巻	昭和6・12・15	宗学院同人	本典研鑽集記第五
9巻	昭和7・3・20	宗学院同人	本典研鑽集記第六
10巻	昭和7・7・25	宗学院同人	本典研鑽集記第七
11巻	昭和7・12・15	宗学院同人	本典研鑽集記第八
12巻	昭和8・4・30	宗学院同人	本典研鑽集記第九
13巻	昭和8・7・30	宗学院同人	本典研鑽集記第十
14巻	昭和8・12・15	向野策馬	浄土三経及び本典と涅槃経との関係
14巻	昭和8・12・15	向野策馬	浄土三経及び本典と涅槃経との関係
15巻	昭和9・4・20	向野策馬	浄土三経及び本典と涅槃経との関係
15巻	昭和9・4・20	宗学院同人	本典研鑽集記第二
16巻	昭和9・8・5	市川良宣	「本典」所引に於ける「華嚴経」観
16巻	昭和9・8・5	宗学院同人	本典研鑽集記第三
17巻	昭和10・1・10	宗学院同人	本典研鑽集記第四
18巻	昭和10・5・1	宗学院同人	本典研鑽集記第五
19巻	昭和10・8・5	宗学院同人	本典研鑽集記第六
20巻	昭和11・2・10	宗学院同人	本典研鑽集記第六
21巻	昭和11・4・25	宗学院同人	本典研鑽集記第六
22巻	昭和11・8・5	宗学院同人	本典研鑽集記第六
23巻	昭和12・2・25	宗学院同人	本典研鑽集記第七



巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
24 輯	昭和12・8・15	水戸善英	本典の義例に就いて
24 輯	昭和12・8・15	宗学院同人	本典研鑽集記第一八
25 輯	昭和12・12・20	宗学院同人	本典研鑽集記第一九
27 輯	昭和13・8・30	雲山龍珠	本典総序に於ける空華の石泉豊前三轍の評林(一)
27 輯	昭和13・8・30	水戸善英	「教文類」に於ける御己証の意義
28 輯	昭和13・12・20	雲山龍珠	本典総序に於ける石泉豊前空華三轍の評林(二)
29 輯	昭和14・5・5	雲山龍珠	本典総序に於ける石泉豊前空華三轍の評林(三)

## 宗学院論集

真宗本願寺派宗学院

復刊第37号	昭和40・11・25	藤沢桂珠	化身土文類に於ける觀經の顯彰隱密義について
38号	昭和42・2・23	奥野秀道	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の一代仏教觀
38号	昭和42・2・23	灘本愛慈	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の成仏道・行論を中心として
38号	昭和42・2・23	岩崎正衛	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗における信の性格
38号	昭和42・2・23	山本一雄	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の现实生活に及ぼす意義
38号	昭和42・2・23	藤下洗養	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗の人間觀
38号	昭和42・2・23	吉川昭丸	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗における往生成仏の意義
38号	昭和42・2・23	柳川巧	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗における救済の原理
38号	昭和42・2・23	秀野大衍	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗方便論序説
38号	昭和42・2・23	三木照国	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 真宗より見たる邪教の性格
52号	昭和56・10・5	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(上)
51号	昭和56・2・5	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(十)
50号	昭和54・12・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(九)
49号	昭和54・3・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(八)
48号	昭和53・9・1	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(七)
47号	昭和52・12・20	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(六)
46号	昭和52・7・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(五)
45号	昭和51・11・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(四)
45号	昭和51・11・25	石田雅文	大江淳誠和上「教行信証」講義録(三)における善導教義の意義
45号	昭和51・11・25	林智康	「教行信証」における「論註」の引用について
44号	昭和51・3・25	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(二)
43号	昭和50・10・30	大江淳誠	大江淳誠和上「教行信証」講義録(一)
43号	昭和50・10・30	板倉耕整	本典後序の文の史的考察
41号	昭和48・6・25	騰瑞夢	「教行信証」と「涅槃經」
40号	昭和45・3・31	小林昭英	「教行信証」の撰述について
38号	昭和42・2・23	徳永道雄	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 親鸞聖人における恩の意義
38号	昭和42・2・23	梯実円	真宗学の基礎的研究・特に教行信証を中心として 日本浄土教に於ける菩提心釈の展開
38号	昭和42・2・23	岡亮二	「略論安楽浄土義」の一考察 曇鸞撰述をめぐって



宗学研究

大谷派本願寺宗学研究会

巻数(号数)	年 月 日	著 者 名	論 文 名
1号	昭和5・11・25	齊藤唯信	真仏土研究の序説
2号	昭和6・4・21	稲葉秀賢	行巻に於ける曇鸞教義の開展(上)
4号	昭和7・4・20	齊藤唯信	真仏土研究序説の二
4号	昭和7・4・20	稲葉秀賢	行巻に於ける曇鸞教義の開展(下)
5号	昭和7・12・1	宮家貴吾	化身土巻と観経
5号	昭和7・12・1	旭野正信	教行信証に於ける報恩称名の地位(上)
6号	昭和8・4・13	旭野正信	教行信証に於ける報恩称名の地位(下)
6号	昭和8・4・13	宮家貴吾	化巻と観経
9号	昭和9・12・25	桑谷観宇	「教行信証大意」の一考察

宗教研究

日本宗教学会

122号	昭和24・10・5	結城令聞	教行信証の信巻別撰についての私見
123号	昭和25・10・10	松野純孝	教行信証述集の年代
131号	昭和27・8・30	森西洲	教行信証化巻末について
133号	昭和27・12・15	森西洲	教行信証阪東本について
137号	昭和28・12	森西洲	教行信証の行信化三巻の組織関係
142号	昭和29・12・25	山本正文	「教行信証」に於ける救済の論理

巻数(号数)

年 月 日

著 者 名

論 文 名

浄土学

大正大学浄土学研究会

2巻	昭和55・6・10	今岡達音	正しく「観経の私記」と「教行信証」とに明かす心と行とを比較す
242号	昭和55・2・20	寺川俊昭	「教行信証」製作の志願
218号	昭和49・3・30	橋本芳契	真実と方便 教行信証について
215号	昭和48・7・31	武内義範	行為と信仰 「教行信証」における行信の問題
214号	昭和48・3・31	石田慶和	「教行信証」「教巻」の根本問題
162号	昭和35・3・15	森西洲	教行信証に於ける雄行雄修
156号	昭和33・8・20	石田慶和	信楽の立場 「教行信証」の哲学的考察
151号	昭和32・3・30	松野純孝	如来等同思想の形成について 坂東本「教行信証」信巻の成立問題
150号	昭和31・12・25	森西洲	「教行信証」に於ける「真実」の意義

聖徳学園女子短期大学紀要

聖徳学園女子短期大学

8集	昭和57・3・31	野部了衆	『教行信証』に見られる『華嚴経』の引文について
史林	昭和31・11・1	赤松俊秀	教行信証(坂東本)について
39巻6号			

史林

史学研究会

真宗学

龍谷大学真宗学会

卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
3号	昭和26・7・15	石田充之	教行信証成立期の法然教団の動向
7・8合併号	昭和27・7・1	大江淳誠	教行信証文類の展望
11号	昭和29・7・15	加藤仏眼	浄土教に於ける「顕浄土真実証文類」の地位
12号	昭和30・2・15	大江淳誠	大無量寿経と教行信証
12号	昭和30・2・15	加藤仏眼	浄土教に於ける「顕浄土真実証文類」の地位
13・14号	昭和30・11・25	大江淳誠	三法四法と広略二典
19号	昭和33・7・1	大江淳誠	真仏土と行文類
20号	昭和34・1・20	大原性実	信巻別撰説反論拾遺
21号	昭和34・7・5	山田博道	広略二典の行信について
22号	昭和35・1・25	石田充之	教行信証の御製作について
25・26号	昭和36・12・10	神子上恵龍	広略二典に於ける教義上の特色広前略後説の一考察
33・34合併号	昭和41・2・20	池本重臣	親鸞教学の教理史的研究 本典と大無量寿経
51号	昭和49・11・25	岡亮二	「行巻」にみる引文の考察(一) 龍樹の諸引文
57号	昭和52・12・25	岡亮二	「行巻」にみる引文の考察(二) 龍樹の諸引文・続

真宗学会会報

真宗学会

4号	昭和5・5・5	大沼善隆	信巻より見たる真宗教義の一斑
----	---------	------	----------------

卷数(号数)

年月日

著者名

論文名

11号	昭和15・2・28	林水月	本典の組織に就いての一考察
10号	昭和14・2・20	大江淳誠	本典と三帖和讃

真宗学報

真宗専門学校出版部

12号	昭和8・6・28	新道高明	御本典の成立考
-----	----------	------	---------

真宗教学研究

真宗同学会

創刊号	昭和52・11・23	宮本正尊	教行信証の思想的考察
-----	------------	------	------------

真宗研究

真宗学研究所

1号	昭和2・7・	普賢大圓	証巻に現れたる親鸞の還相廻向觀
9号	昭和3・3・	梅原真隆	教行信証と愚禿鈔(上)(村上博士の新説を検討す)
10号	昭和3・4・	梅原真隆	教行信証と愚禿鈔(下)(村上博士の新説を検討す)
41号	昭和5・3・20	中井玄道	教行信証譬喩索引

真宗研究

真宗連合学会

1輯	昭和30・10・10	岩田繁三	「見聞集」より見たる「教行信証」の成立とその意義
1輯	昭和30・10・10	立花浄見	行巻の行について
1輯	昭和30・10・10	日野環	「教行信証」化身土巻の古写延書本の零残について

真宗研究会紀要				親鸞教学			
2号	昭和45・9・10	北山覚	坂東本私釈中の「イフ」の用法	1号	昭和37・12・10	日野環	「教行信証」の教巻の標挙について
龍谷大学大学院真宗研究会				4号	昭和39・7・20	二村竜華	教行信証における「雑」の意味
卷数(号数)	年月日	著者名	論文名	卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
1輯	昭和30・10・10	山本正文	疑蓋無雑の倫理 「信巻」三一間答を中心として	2号	昭和45・9・10	佐長泰教	広前略後説に対する疑問
2輯	昭和31・9・25	生桑完明	高田伝来の「教行信証」真本について	5号	昭和49・3・25	水口縁	化身土巻の批判精神
2輯	昭和31・9・25	稲垣最三	「教行信証」の仏性論	5号	昭和49・3・25	埜上孝志	「教行信証」に於ける総序・教巻について
2輯	昭和31・9・25	小川貫弐	真筆の草本「顕化身土文類」	5号	昭和49・3・25	原田英道	行巻「六字釈」に於ける親鸞の称名念仏行の理解について
3輯	昭和32・10・30	大江淳誠	行信両巻の見方について 安井広度氏の新説に対して	5号	昭和49・3・25	真田英隆	「行巻」における一乗海釈について
5輯	昭和35・10・20	雲村賢淳	「教行信証」研究序説 構造の問題	5号	昭和49・3・25	竹中論	「行巻」における真実行についての一視点・善導・法然の伝承を中心として
6輯	昭和36・9・30	桐溪順忍	行巻の称名に就いて	7号	昭和50・8・25	真田英隆	「教行信証」の輪読会「逆諦除取釈」を中心に
6輯	昭和36・9・30	藤谷秀道	教行信証の不退位について	13号	昭和55・3・25	野村伸夫	信巻の分析
6輯	昭和36・9・31	森西洲	教行信証延書について	真宗講話			
7輯	昭和37・9・30	岩田繁三	「教行証文類」の成立過程における「元仁元年」	光融館			
11輯	昭和41・12・5	佐々木求巳	教行信証開版に関する二三の問題に就いて	6号	大正11・4・10	島地大等	「教行信証」大要
22輯	昭和52・12・15	橋本芳契	世親の浄土観試論「教行信証」証巻「所出の維摩経説について	11号	大正11・11・10	禿氏祐祥	本願寺本「教行信証」解説
22輯	昭和52・12・15	小妻道生	行巻における諸仏についての一考察	真宗論攷			
23輯	昭和54・3・31	重見一行	坂東本「教行信証」成立時期再考	真宗学会			
24輯	昭和55・2・28	小妻道生	教行二巻と如来の智慧海	2号	昭和7・7・1	桑谷観宇	噫慶師の広本観に就いて
24輯	昭和55・2・28	藤谷大圓	教行信証の教行関係(一)	大谷大学真宗学会			

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
6号	昭和40・6・25	金子大栄	二部作「教行信証」
7号	昭和40・12・10	金子大栄	願心の廻向と光明の摂化 二部作「教行信証」(続)
7号	昭和40・12・10	宮本正尊	教行信証と仏教
8号	昭和41・7・1	金子大栄	諸仏と善知識 二部作「教行信証」(三)
12号	昭和43・6・10	武内義範	宗教的行為としての「大行」 「教行信証」の一考察
18号	昭和46・6・20	大河内了悟	行信二巻に於ける二つの愚考 一人二位の念仏と信巻の本末無分の教行信証の研究・『教行信証』の仏教思想史上の意義
21号	昭和47・12・20	安藤俊雄	教行信証の研究・行信論
21号	昭和47・12・20	金子大栄	教行信証の研究・「教行信証」と「選択集」
21号	昭和47・12・20	稲葉秀賢	教行信証の研究・「教行信証」と「大無量寿経」の仏教史観
21号	昭和47・12・20	松原祐善	教行信証の研究・根本願・根本言
21号	昭和47・12・20	安田理深	教行信証の研究・光明・名号の因縁
21号	昭和47・12・20	臼井元成	教行信証の研究・瞬間と持続——行の一念を問う——
21号	昭和47・12・20	本多弘之	教行信証の研究・真実への展開——別序の内景に即して——
21号	昭和47・12・20	安富信哉	教行信証の研究・群生海のこころ
21号	昭和47・12・20	栗原行信	教行信証の研究・真宗教判論序説——親鸞の菩提心論を中心として——
21号	昭和47・12・20	幡谷明	教行信証の研究・現生利益の考察——真仏弟子の諸問題——
21号	昭和47・12・20	大門照忍	教行信証の研究・唯除の機
21号	昭和47・12・20	小林光紀	教行信証の研究・願生の仏道——法蔵の願心への呼応——
21号	昭和47・12・20	寺川俊昭	教行信証の研究・願生の仏道——法蔵の願心への呼応——
巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
21号	昭和47・12・20	林一宗	教行信証の研究・本願力廻向
21号	昭和47・12・20	小野蓮明	教行信証の研究・還相廻向の問題
21号	昭和47・12・20	江上淨信	教行信証の研究・本願酬報の意義——特に隠顕釈によつて——
21号	昭和47・12・20	藤原幸章	教行信証の研究・内観道の実践
21号	昭和47・12・20	伊東慧明	教行信証の研究・仏性論上から見た親鸞の地位
21号	昭和47・12・20	横超慧日	教行信証の研究・鎌倉仏教の成立と「教行信証」
21号	昭和47・12・20	赤松俊秀	教行信証の研究・現代と仏教
21号	昭和47・12・20	西谷啓治	教行信証の研究・信における未来の問題
21号	昭和47・12・20	曾我量深	親鸞に於ける真仮論「教行信証」の構造
24号	昭和49・6・20	岩城知行	教行信証「後序」について 特に「主上臣下背法違義」成忿結怨を中心に金子大栄先生を追憶して 金子先生と「教行信証」
28号	昭和51・6・30	藤原幸章	教行信証の研究・現代と仏教
30号	昭和52・7・10	松原祐善	教行信証の研究・現代と仏教
親鸞聖人研究			
2号	大正9・7・15	梅原真隆	さぬきの夢想と「信巻」の表白
13号	大正11・6・28	梅原真隆	本典後序と歎異鈔の相承観
42号	大正14・3・5	梅原真隆	教行信証は親鸞聖人の撰述なり 教行信証流通分の研究其一(教行信証に関する論議と批判)
43号	大正14・4・5	梅原真隆	教行信証の撰述年代について 教行信証流通分の研究其二(教行信証の撰述年代)
46号	大正14・11・5	梅原真隆	教行信証の撰述年代について(下) 教行信証流通分の研究其三 本多博士の四疑問

巻数(号数)	年 月 日	著 者 名	論 文 名
47 輯	大正 14・12・5	梅原真隆	承元の法難(上) (教行信証流通分の研究其四)
48 輯	大正 14・12・15	梅原真隆	承元の法難(下) (教行信証流通分の研究其五)
62 輯	昭和 3・	梅原真隆	教行信証の撰述について
63 輯	昭和 3・	梅原真隆	教行信証に対する七疑について 今岡教授の愚禿親鸞観を検討す 其三
69 輯	昭和 5・	梅原真隆	「教行信証」の中心問題 (上)
70 輯	昭和 5・	梅原真隆	「教行信証」の中心問題 (下)
71 輯	昭和 5・11・15	梅原真隆	教行信証総序文 (上)
71 輯	昭和 5・11・15	梅原真隆	教行信証雑抄
73 輯	昭和 7・9・10	梅原真隆	教行信証の概観 (一) 御本典の題号について
74 輯	昭和 7・11・15	梅原真隆	教行信証の概観 (二) 真仮判判の批判と旨趣
75 輯	昭和 8・1・20	梅原真隆	教行信証の概観 (三) 信巻別開の批判と組織
75 輯	昭和 8・1・20	梅原真隆	教行信証総序文 (下)
77 輯	昭和 8・9・30	梅原真隆	教行信証の御左訓について
81 輯	昭和 12・2・10	梅原真隆	顕真実の本質的機構 教行信証真仏土巻序説

親鸞聖人論攷

大谷専修学院出版部

創刊号	昭和 29・9・1	大谷専修学院親鸞聖人研究会	学界展望「教行信証」信巻別撰をめぐる論争
2 号	昭和 29・12・10	森西洲	教行信証の三序の対応
4 号	昭和 30・12・20	稲葉秀賢	「教行信証」信巻に就いて (上) 信巻別撰説と關聯して

巻数(号数)	年 月 日	著 者 名	論 文 名
4 号	昭和 30・12・20	日野環	随見随聞随感記 専修寺蔵の親鸞撰述聖教及坂東本御本書等
5 号	昭和 31・11・5	権藤圓立	親鸞聖人の音楽性についての考察 (教行信証の文体について)
5 号	昭和 31・11・5	日野環	随見随聞随感記 (二)
6・7 合併号	昭和 32・11・20	稲葉秀賢	教行信証信巻について (下)
6・7 合併号	昭和 32・11・20	雲村賢淳	教義と教化 主として広略二本の対比に就いて
6・7 合併号	昭和 32・11・20	森西洲	教行信証と蓮如上人

鈴木学術財団研究年報

鈴木学術財団

12・13 号	昭和 51・10・20	早島鏡正	小鹿義晃校「諸本対校教行信証上下」(書評と紹介)
---------	-------------	------	--------------------------

精神界

浩々洞

15 巻 1 号	大正 4・1・10	暁烏敏	「教行信証」の研究
15 巻 10 号	大正 4・11・10	(著者名ナシ)	本国に帰れ 『教行信証』

全 人

全人社

2 巻 6 号	昭和 24・6・20	金子大栄	真宗聖典「教行信証」抄訳 序
2 巻 7 号	昭和 24・7・25	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意訳 教
2 巻 8・9 合併号	昭和 24・9・15	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意訳 行の
2 巻 10 号	昭和 24・10・30	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意訳 不退の法 龍樹の一

卷数(号数)	年月日	著者名	論文名	卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
2 卷11号	昭和24・11・	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意 不退 の法 龍樹の二	4 卷7号	昭和26・7・5	金子大栄	真宗聖典21「教行信証」意 信
2 卷12号	昭和24・12・	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意 三 真 実の徳	4 卷8号	昭和26・8・5	金子大栄	真宗聖典22「教行信証」意 欲
3 卷1号	昭和25・1・30	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意 往生 浄土の教	4 卷9号	昭和26・9・5	金子大栄	真宗聖典23「教行信証」意 大
3 卷2号	昭和25・3・5	金子大栄	真宗聖典「教行信証」意 転 成の徳	4 卷10号	昭和26・10・5	金子大栄	真宗聖典24「教行信証」意 信
3 卷3号	昭和25・4・5	金子大栄	真宗聖典6「教行信証」意 念 仏成仏	4 卷11号	昭和26・12・5	金子大栄	真宗聖典25「教行信証」意 横
3 卷4号	昭和25・5・5	金子大栄	真宗聖典7「教行信証」意 念 仏成仏(二)	5 卷1号	昭和27・1・5	金子大栄	真宗聖典26「教行信証」意 真
3 卷5号	昭和25・6・5	金子大栄	真宗聖典8「教行信証」意 念 仏成仏(三)	5 卷2号	昭和27・2・5	金子大栄	真宗聖典26「教行信証」意 阿
3 卷6号	昭和25・7・5	金子大栄	真宗聖典9「教行信証」意 徳 と名	5 卷3号	昭和27・4・5	金子大栄	真宗聖典27「教行信証」意 業
3 卷7号	昭和25・8・5	金子大栄	真宗聖典10「教行信証」意 仏 徳に相應して	5 卷4号	昭和27・5・5	金子大栄	真宗聖典28「教行信証」意 逆
3 卷8号	昭和25・9・5	金子大栄	真宗聖典11「教行信証」意 一 声称念の力	5 卷4号	昭和27・5・5	権藤正行	真宗聖典28「教行信証」意 逆
3 卷9号	昭和25・10・5	金子大栄	真宗聖典12「教行信証」意 本 願力	5 卷5号	昭和27・6・5	金子大栄	真宗聖典29「教行信証」意 抑
3 卷10号	昭和25・11・5	金子大栄	真宗聖典13「教行信証」意 一 乗海	5 卷6号	昭和27・8・5	金子大栄	真宗聖典30「教行信証」意 真
3 卷11号	昭和25・12・5	金子大栄	真宗聖典14「教行信証」意 正 信讃歌	5 卷7号	昭和27・9・5	金子大栄	真宗聖典30「教行信証」意 真
4 卷1号	昭和26・1・5	金子大栄	真宗聖典15「教行信証」意 信 のよろこび	5 卷8号	昭和27・10・5	金子大栄	真宗聖典32「教行信証」意 浄
4 卷2号	昭和26・2・5	金子大栄	真宗聖典16「教行信証」意 本 願・淳・相続の心	5 卷9号	昭和27・11・5	金子大栄	真宗聖典33「教行信証」意 人
4 卷3号	昭和26・3・5	金子大栄	真宗聖典17「教行信証」意 至 誠心・深心	5 卷10号	昭和27・12・20	金子大栄	真宗聖典34「教行信証」意 柔
4 卷4号	昭和26・4・5	金子大栄	真宗聖典18「教行信証」意 二 河譬	6 卷1号	昭和28・1・20	金子大栄	真宗聖典35「教行信証」意 入
4 卷5号	昭和26・5・5	金子大栄	真宗聖典19「教行信証」意 三 心釈	6 卷2号	昭和28・4・20	金子大栄	真宗聖典36「教行信証」意 無
4 卷6号	昭和26・6・5	金子大栄	真宗聖典20「教行信証」意 至 心	6 卷3号	昭和28・6・20	金子大栄	真宗聖典37「教行信証」意 渾



4 輯	昭和 8・5・1	中沢見明	専修寺蔵の見聞集と教行信証成立の時代に就て	49 輯	昭和 36・11・15	山口淳有	信証・和讃に関連して
高田学報	10 号	昭和 47・3・30	五十嵐明宝	48 輯	昭和 36・8・1	後藤興善	親鸞聖人漢文著作四典の製作期の前後について
				45 輯	昭和 34・5・31	平松令三	延文五年覚念書写教行信証について
				45 輯	昭和 34・5・31	細川行信	教行信証に記載の「元仁元年」について
				41 輯	昭和 32・11・15	常磐井堯祺	教行信証の校勘 (9)
大東文化大学紀要	11 巻 10 号	昭和 31・10・1	桐溪順忍・結城令聞・笠原一男	40 輯	昭和 32・5・15	常磐井堯祺	教行信証の校勘 (8)
				39 輯	昭和 31・11・3	常磐井堯祺	教行信証の校勘 (7)
				36 輯	昭和 29・9・28	生桑完明	教行証に撰取せられたる法華経
				35 輯	昭和 28・12・24	岩田繁三	浄土文類聚鈔と本典との関係
大世界	6 巻 6 号	昭和 2・6・1	広瀬了乗	35 輯	昭和 28・12・24	常磐井堯祺	教行信証の校勘 (6)
				34 輯	昭和 28・11・10	岩田繁三	教行信証の成立に就いて 信巻の問題を中心に
				34 輯	昭和 28・11・10	常磐井堯祺	教行信証の校勘 (5)
				11 輯	昭和 10・11・1	常磐井堯祺	教行信証の校訂 (4)
大乘	7 巻 3 号	昭和 29・4・20	金子大栄	8 輯	昭和 9・8・10	山口竹千代	広略両典に於ける措辞に就いて特に二ヶ偈文を中心とする
				8 輯	昭和 9・8・10	常磐井堯祺	教行信証の校訂 (3)
				7 輯	昭和 9・1・7	常磐井堯祺	教行信証の校訂
				7 輯	昭和 9・1・7	中沢見明	見聞集と教行信証 梅原氏の教示をうけて
6 巻 6 号	昭和 28・12・20	金子大栄	真宗聖典 40 「教行信証」 意識 浄土の徳	6 輯	昭和 8・10・10	三井淳弁	教行信証と和讃の交渉
6 巻 5 号	昭和 28・11・20	金子大栄	真宗聖典 39 「教行信証」 意識 久遠の郷土	6 輯	昭和 8・10・10	常磐井堯祺	教行信証の校訂
6 巻 4 号	昭和 28・10・20	金子大栄	真宗聖典 38 「教行信証」 意識 常楽の浄域	6 輯	昭和 8・10・10	常磐井堯祺	教行信証の校訂
7 巻 1 号	昭和 29・1・20	金子大栄	真宗聖典 41 「教行信証」 意識 本願酬報	7 輯	昭和 9・1・7	常磐井堯祺	教行信証の校訂
7 巻 2 号	昭和 29・2・20	金子大栄	真宗聖典 42 「教行信証」 意識 帰結	8 輯	昭和 9・8・10	常磐井堯祺	教行信証の校訂 (3)
7 巻 3 号	昭和 29・4・20	金子大栄	真宗聖典 43 「教行信証」 意識 本願と成就 化身土の巻	8 輯	昭和 9・8・10	山口竹千代	広略両典に於ける措辞に就いて特に二ヶ偈文を中心とする

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
50 輯	昭和37・10・15	岩田繁三	「本典」より「略文類」への動き
50 輯	昭和37・10・15	真岡慶心	高田派に於ける教行信証の講述について
52 輯	昭和39・8・20	岩田繁三	「教行証文類」の成立とその思想的展開
55 輯	昭和40・11・20	竹中誠一	「顕浄土真実教行証文類」に於ける原初期より前期への成立過程
69 輯	昭和56・3・20	小妻道生	信巻・三番解釈における愚と善について

高田教学

高田教学院

1 号	昭和23・11・28	生桑完明	高田伝来の教行証真本を尋ねて
-----	------------	------	----------------

高田研究

高田史学会

3 号	昭和27・6・10	真岡慶心	教行信証御真本を慕いて(上)
4 号	昭和27・10・	真岡慶心	教行信証御真本を慕いて(下)

中央史壇

国史講習会

5 巻 6 号	大正11・	本多辰次郎	親鸞聖人と教行信証
6 巻 2 号	大正12・	本多辰次郎	親鸞聖人と教行信証
12 巻 6 号	大正15・6・1	藤原猶雪	親鸞の「教行信証」成立期の時処に就て

中世文芸

広島中世文芸研究会

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
48 号	昭和45・12・25	重見一行	教行信証行巻頭注に関する二三の私見
50 号	昭和47・10・1	重見一行	浄得寺本「教行信証」の本文に就いて

哲学

広島哲学会

21 集	昭和45・3・1	仁科弘	「教行信証」における行の意義
------	----------	-----	----------------

哲学研究

創文社

330 号	昭和18・9・1	武内義範	教行信証に於ける教の概念
335 号	昭和19・2・1	武内義範	教行信証に於ける教の概念(承前)
336 号	昭和19・3・1	武内義範	教行信証に於ける教の概念(承前)
467 号	昭和35・1・20	石田慶和	信楽の論理「教行信証」の哲学的考察

伝道院紀要

浄土真宗本願寺派出版部

25・26 合刊号	昭和56・3・31	梯実円	興福寺奏状と教行信証
-----------	-----------	-----	------------

伝道新誌

伝道新誌社

10 年 8 号	明治30・8・21	東陽圓月	本典大綱会録
----------	-----------	------	--------



東亞の光

東亞協會

同朋學報

同朋学会

卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
21卷1号	大正15・1・1	紀平正美	親鸞の「教行信証」について

東海仏教

東海印度学仏教学会

1輯	昭和30・6・30	赤松恵澄	教行信証成立に関する一考察
2輯	昭和31・6・30	森西洲	教行信証の行信化三巻の対応関係
2輯	昭和31・6・30	小島叡成	御本書行巻に顕れた大行の性格について
3輯	昭和32・10・19	森西洲	「教行信証」に於ける「真実」と「方便」
4輯	昭和33・10・19	森西洲	教行信証の証巻と真仏土巻の対応関係
5輯	昭和34・6・1	森西洲	教行信証化巻概観
8輯	昭和37・6・1	森西洲	教行信証教巻について
13輯	昭和44・3・30	石原斌夫	「教行信証」における信の構造について 本典の解明に先立つて
13輯	昭和44・3・30	神戸和磨	開覚仏性について とくに「教行信証」「真仏土巻」を中心に

東方

法蔵館

11号	昭和24・9・1	武内義範	教行信証私記
-----	----------	------	--------

同朋大学論叢

同朋学会

卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
4号	昭和32・6・1	安井広度	教行信証の行信二巻に於ける行信のありかた 東大結城教授の信巻別撰論を縁として
5号	昭和33・6・25	安井広度	教行信証に於ける大行について 大江教授に应う
6号	昭和34・6・25	稲葉秀賢	「教行信証」に於ける真実行の意義
8・9合併号	昭和37・7・1	小串侍	坂東本「御本書」の元仁元年に就いて
23号	昭和45・12・1	神戸和磨	救済の本願と悉有仏性の自覚「教行信証」「真仏土巻」を中心に

東方仏教

東方仏教協会

36号	昭和52・6・1	尾畑文正	「教行信証化身土末巻の研究」
39号	昭和53・12・1	寺倉襄	「信巻」所明の多様性
41号	昭和54・12・1	小島叡成	「本典」の組織と教義大綱
2巻10号	昭和2・10・1	御橋恵言	教行信証と信教

同朋仏教

同朋仏教編集部

5号	昭和48・11・1	寺倉襄	「教行信証」と「御文」の交渉
9・10合併号	昭和51・12・1	小島叡成	教行信証における化身土末巻の位置

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
9・10合併号	昭和51・12・1	稲葉秀賢	真と仮、真と偽の分界
9・10合併号	昭和51・12・1	池田勇諦	「方便」の義意
9・10合併号	昭和51・12・1	寺倉襄	宗祖の神祇観
9・10合併号	昭和51・12・1	宇治谷祐顕	化身土巻における天神地祇 特に大集経月蔵分との比較交渉を中心として
9・10合併号	昭和51・12・1	神戸和麿	「教行信証」にあらわれた「魔」の意味
9・10合併号	昭和51・12・1	浜田耕生	鬼神の考察「化身土末巻」引用経典を中心として
9・10合併号	昭和51・12・1	武田賢寿	真宗と戒律
9・10合併号	昭和51・12・1	畝部俊英	「菩薩戒経」の背景「大阿弥陀経」の帝王観の行方をめぐっての試論
9・10合併号	昭和51・12・1	織田顕信	神仏習合について岸部本「真仏因縁」の紹介
9・10合併号	昭和51・12・1	織田顕信	故岸部武利氏所蔵「真仏因縁」(仮題)
9・10合併号	昭和51・12・1	吉田昇代	「愚禿悲歎述懷和讃」研究序説「化身土末巻」との関係において
9・10合併号	昭和51・12・1	小串侍	御本書後序に就いて
9・10合併号	昭和51・12・1	諏訪義讓	清沢・住田両先生の出遇い その追憶と宗学

東北大学日本思想史研究 東北大学文学部日本思想史学研究室

2学	昭和43・2・1	古田武彦	原教行信証の成立―元仁元年問題の史料科学的研究―
----	----------	------	--------------------------

東洋思想

東洋思想研究会

3巻1号	昭和52・9・1	林智康	「選択集」と「教行信証」
------	----------	-----	--------------

東洋大学大学院紀要

東洋大学大学院

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
2集	昭和40・9・1	小林芳規	鎌倉時代語史料としての草稿本教行信証古点

中村学園研究紀要

中村学園大学短期大学家政学会

3号	昭和45・12・24	服部薫夫	親鸞の人生観 教行信証信の巻を中心として
----	------------	------	----------------------

日本仏教

大蔵出版株式会社

2号	昭和33・10・30	佐々木求巳	坂東本教行信証相伝史の一鍵
7号	昭和35・3・15	結城令聞	信巻別撰反論拾遺に答え、併わせて拾遺の見解を評す(一)
7号	昭和35・3・15	松野純孝	「教行信証」所引の阿弥陀経義疏の文
7号	昭和35・3・15	松野純孝	信巻別撰説反論拾遺に答え、併わせて拾遺の見解を評す(二)
8号	昭和35・5・25	結城令聞	日本仏教の課題「教行信証」などの諸問題をめぐって
13号	昭和37・5・20	結城令聞・古田紹欽・松野純孝	日本仏教の課題「教行信証」な

日本仏教学会年報

日本仏教学会西部事務所

26号	昭和36・3・25	古田紹欽	顕浄土真実教行証文類に於ける化身土巻の意義
31号	昭和41・3・31	幡谷明	教行信証における無上涅槃の意義特にその思想的背景を中心として

日本仏教史学

日本仏教史学会

仏教史学

平楽寺書店

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
16号	昭和56・2・25	小此木輝之	『教行信証』

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
13巻1号	昭和42・3・25	古田武彦	坂東本の史料科学的研究 教行信証成立論の新基礎として

仏教研究

大東出版社

仏教史学研究

仏教史学会

2巻5号	昭和13・10・25	鈴木宗忠	教行信証の構成に関する問題 特 に高田本山の史料を中心として
------	------------	------	-----------------------------------

16巻2号	昭和49・6・30	重見一行	西本願寺本教行信証について そ の書誌学的考察
18巻2号	昭和51・3・31	重見一行	専修寺本教行信証に関する書誌学 的考察

仏教研究

大谷大学仏教研究会

仏教大学論叢

仏教大学論叢社

3巻2号	大正11・4・20	泉芳瑋	原典より見たる御本書の引用経典
3巻2号	大正11・4・20	日下無倫	教行信証延書古写本の研究
3巻4号	大正11・11・28	鷲尾教導	「教行証文類」完成年代考
3巻4号	大正11・11・28	広瀬南雄	喜田博士の教行信証に対する疑義 を読みと
4巻1号	大正12・3・15	橋川正	教行信証流传史の一節
4巻1号	大正12・3・15	日下無倫	東本願寺所蔵教行信証延書のこと
4巻3・4号	大正12・12・20	中沢見明	「教行信証」著作の意志とその年 代に就て
4巻3・4号	大正12・12・20	日下無倫	教行信証古写本の種類及その最古 の註疏
6巻1号	大正14・2・	山上正尊	教行信証諸版本展観
6巻3号	大正14・10・20	本多辰次郎	教行信証後序の読み方

242号	大正11・2・28	中井玄道	「教行信証」流传史上に於ける存 覚上人の地位
------	-----------	------	---------------------------

仏教文化研究所紀要

龍谷大学仏教文化研究所

18集	昭和54・6・30	岡亮二	「教行信証」「行巻」の研究 六 字釈を中心に
-----	-----------	-----	---------------------------

仏国

10号	昭和3・	梅原真隆	教行信証後序に対する一考察
10号	昭和3・	源哲勝	信巻を中心とせる教行信証

## 仏座

仏座社

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
1巻1号	大正15・1・1	金子大栄	本願の表現とその素材としての人生―「教行信証」を読み(一)―
1巻2号	大正15・2・1	金子大栄	聞法と自覚―「教行信証」を読み(二)―
1巻3号	大正15・3・1	金子大栄	真宗教の成立―「教行信証」を読み(三)―
1巻4号	大正15・4・1	金子大栄	広く法蔵を開きて―「教行信証」を読み(四)―
1巻4号	大正15・4・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(一)
1巻5号	大正15・5・1	金子大栄	教法論―「教行信証」を読み(五)
1巻6号	大正15・6・1	金子大栄	真実の行、選択の行―「教行信証」を読み(六)―
1巻7号	大正15・7・1	金子大栄	念仏の意義―「教行信証」を読み(七)
1巻8号	大正15・8・1	金子大栄	菩薩道と念仏(上)―「教行信証」を読み(八)―
1巻9号	大正15・9・1	金子大栄	菩薩道と念仏(下)―「教行信証」を読み(九)―
1巻10号	大正15・10・1	金子大栄	念仏と菩薩道―「教行信証」を読み(十)―
1巻11号	大正15・11・1	金子大栄	願生論―「教行信証」を読み(十一)―
1巻12号	大正15・12・1	金子大栄	伊蘭の臭、梅檀の香―「教行信証」を読み(十二)―
1巻12号	大正15・12・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(二)
1巻12号	大正15・12・1	金子大栄	「教行信証」を読み(十三)―
13号	昭和2・1・15	金子大栄	本願の名号―「教行信証」を読み(一三)―
14号	昭和2・2・1	金子大栄	招喚の声―「教行信証」を読み(一四)―
巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
15号	昭和2・3・1	金子大栄	浄土教と讃歌―「教行信証」を読み(一五)―
16号	昭和2・4・1	金子大栄	聖道家の応和―「教行信証」を読み(一六)―
17号	昭和2・5・1	金子大栄	悪人の道徳―「教行信証」を読み(一七)―
17号	昭和2・5・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(三)
18号	昭和2・6・1	金子大栄	浄土教の本義―「教行信証」を読み(一八)―
19号	昭和2・7・1	金子大栄	一声称念―「教行信証」を読み(一九)―
23号	昭和2・11・1	金子大栄	本願力―「教行信証」を読み(二〇)―
24号	昭和2・12・1	金子大栄	一道―「教行信証」を読み(二一)―
25号	昭和3・1・1	金子大栄	智慧報徳の為に―「教行信証」を読み(二二)―
26号	昭和3・2・1	金子大栄	信に就ての序言―「教行信証」を読み(二三)―
27号	昭和3・3・1	金子大栄	大信論(総説)―「教行信証」を読み(二四)―
28号	昭和3・4・1	金子大栄	群生海のころろ―「教行信証」を読み(二五)―
29号	昭和3・5・1	金子大栄	淳一相統の心―「教行信証」を読み(二六)―
29号	昭和3・5・1	大道治三郎	淳字訓の厚朴に就て
30号	昭和3・6・1	金子大栄	金剛不壊の信―「教行信証」を読み(二七)―
31号	昭和3・7・1	金子大栄	真宗学概念―「教行信証」を読み(二八)―
32号	昭和3・8・1	金子大栄	願生に於ける發遣と招喚―「教行信証」を読み(二九)―
33号	昭和3・9・1	金子大栄	大悲無倦―「教行信証」を読み(三〇)―
34号	昭和3・10・1	金子大栄	三心一心の問答(上)―「教行信証」を読み(三一)―

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
35号	昭和3・11・1	金子大栄	三心一心の問答(下)――「教行信証」を読みみて(三二)――
36号	昭和3・12・1	大道治三郎	「教行信証」に現はるる植物(四)
36号	昭和3・12・1	金子大栄	至心――「教行信証」を読みみて(三三)――
37号	昭和4・1・1	金子大栄	信楽――「教行信証」を読みみて(三四)――
38号	昭和4・2・1	金子大栄	欲生――「教行信証」を読みみて(三五)――
39号	昭和4・3・1	金子大栄	行信論――「教行信証」を読みみて(三六)――
40号	昭和4・4・1	金子大栄	菩提心と信楽――「教行信証」を読みみて(三七)――
41号	昭和4・5・1	金子大栄	信楽開発の一念――「教行信証」を読みみて(三八)――
42号	昭和4・6・1	金子大栄	彼岸への横超――「教行信証」を読みみて(三九)――
43号	昭和4・7・1	金子大栄	真仏弟子――「教行信証」を読みみて(四〇)――
44号	昭和4・8・1	金子大栄	罪惡に対する弁明と懺悔――「教行信証」を読みみて(四一)――
45号	昭和4・9・1	金子大栄	月愛三昧――「教行信証」を読みみて(四二)――
46号	昭和4・10・1	金子大栄	逆惡と諦法――「教行信証」を読みみて(四三)――
47号	昭和4・11・1	金子大栄	抑止と撰取――「教行信証」を読みみて(四四)――
48号	昭和4・12・1	金子大栄	真実証――「教行信証」を読みみて(四五)――
49号	昭和5・1・1	金子大栄	浄土と大涅槃――「教行信証」を読みみて(四六)――
50号	昭和5・2・1	金子大栄	還相廻向論――「教行信証」を読みみて(四七)――
51号	昭和5・3・1	金子大栄	浄土の菩薩――「教行信証」を読みみて(四八)――
52号	昭和5・4・1	金子大栄	願心莊嚴――「教行信証」を読みみて(四九)――
71号	昭和6・11・1	金子大栄	難信論――「教行信証」を読みみて(六八)――
70号	昭和6・10・1	金子大栄	果遂の誓――「教行信証」を読みみて(六七)――
69号	昭和6・9・1	金子大栄	「阿弥陀經」の一心――「教行信証」を読みみて(六六)――
68号	昭和6・8・1	金子大栄	雑行雑修の分別――「教行信証」を読みみて(六五)――
67号	昭和6・7・1	金子大栄	聖道より浄土へ――「教行信証」を読みみて(六四)――
66号	昭和6・6・1	金子大栄	定散の心と念仏の信――「教行信証」を読みみて(六三)――
65号	昭和6・5・1	金子大栄	願生心の自己反省――「教行信証」を読みみて(六二)――
64号	昭和6・4・1	金子大栄	来迎論――「教行信証」を読みみて(六一)――
63号	昭和6・3・1	金子大栄	真実と方便――「教行信証」を読みみて(六〇)――
62号	昭和6・2・1	金子大栄	真仮の分判――「教行信証」を読みみて(五九)――
61号	昭和6・1・1	金子大栄	本願酬報の意義――「教行信証」を読みみて(五八)――
60号	昭和5・12・1	金子大栄	浄土の諸徳――「教行信証」を読みみて(五七)――
59号	昭和5・11・1	金子大栄	涅槃と仏性――「教行信証」を読みみて(五六)――
58号	昭和5・10・1	金子大栄	常樂の浄土――「教行信証」を読みみて(五五)――
57号	昭和5・9・1	金子大栄	涅槃の意義――「教行信証」を読みみて(五四)――
56号	昭和5・8・1	金子大栄	光明の諸徳――「教行信証」を読みみて(五三)――
55号	昭和5・7・1	金子大栄	真仏土――「教行信証」を読みみて(五二)――
54号	昭和5・6・1	金子大栄	園林遊戯――「教行信証」を読みみて(五一)――
53号	昭和5・5・1	金子大栄	願生道と成仏道――「教行信証」を読みみて(五〇)――

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
72号	昭和6・12・1	金子大栄	三願転入の表白―「教行信証」を読み(六九)―
73号	昭和7・1・1	金子大栄	浄土教興起の時機―「教行信証」を読み(七〇)―
74号	昭和7・2・1	金子大栄	末法灯明記―「教行信証」を読み(七一)―
75号	昭和7・3・1	金子大栄	真偽の勘決―「教行信証」を読み(七二)―
76号	昭和7・4・1	金子大栄	天界と人生―「教行信証」を読み(七三)―
77号	昭和7・5・1	金子大栄	邪道雜記―「教行信証」を読み(七四)―
78号	昭和7・6・1	金子大栄	道教批判―「教行信証」を読み(七五)―
79号	昭和7・7・1	金子大栄	祠鬼神の非義―「教行信証」を読み(七六)―
80号	昭和7・8・1	金子大栄	真宗興隆の事縁―「教行信証」を読み(七七)―

仏道

1巻23号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻24号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻26号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻27号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻28号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻29号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻30号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻31号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
1巻32号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記
1巻33号	昭和14・	曾我量深	教行信証総序聞記

文化

岩波書店

5巻3号	昭和13・3・1	鈴木宗忠	教行信証の真蹟本に就いて
6巻11号	昭和14・11・1	鈴木宗忠	教行信証の成立に関する思想的考察

法爾

法爾

18号	大正8・7・16	妻木直良	本願寺所蔵の真本「教行信証」に就いて
19号	大正8・8・16	妻木直良	本願寺所蔵の真本「教行信証」に就いて(承前)

武蔵野女子大学紀要

武蔵野女子大学文化学会

9巻	昭和49・3・25	五十嵐明宝	「教行信証」における真実と方便
----	-----------	-------	-----------------

無尽灯

無尽灯社

3巻2号	明治31・2・15	(鷗浦)	教行信証に於ける親鸞聖人
8巻12号	明治36・12・1	中川恵亮	「教行信証」に「法華經」を引証し給はざる所以(質疑解答)
18巻4号	大正2・4・5	住田智見	寛永丙子本の「教行信証」に就いて
18巻6号	大正2・6・5	鷲尾教導	大谷派本山「教行信証」「同会本」開版起原

21 卷4号	大正5・4・1	山脇馨	顯浄土真実教文類	龍谷学報 興教書院	320号	昭和12・12・20	桐溪順忍	本典研鑽集記の刊行されて
20 卷11号	大正4・11・	山田文昭	晩年に於ける親鸞聖人の半面 寛永版教行信証奥書私考		318号	昭和12・7・5	加藤仏眼	浄土教に於ける「顕浄土方便化身 土文類」の地位（諸行論ノ一）
19 卷4号	大正3・4・20	山辺習学	教行信証の研究「教行信証」研究 の方針		314号	昭和11・2・5	松陰了諦	教行信証に於ける十住毘婆沙論の 引意に就いて（上）
19 卷4号	大正3・4・20	広瀬南雄	教行信証の研究「教行信証」と 蓮如上人		313号	昭和10・10・25	松陰了諦	教行信証に於ける十住毘婆沙論の 引意に就いて（上）
19 卷4号	大正3・4・20	長谷法薫	教行信証の研究「教行信証」と 存覚上人	理想 理想社	9月号	昭和51・9・1	高橋壮	江戸時代の仏教学 香月院深励の 「教行信証議義」を中心に
19 卷4号	大正3・4・20	山上正尊	源空門下の一念義「教行信証」と 引用されたる諸師に就いて					
19 卷4号	大正3・4・20	菅原法嶺	教行信証の研究「教行信証」と 引用されたる諸師に就いて					
19 卷4号	大正3・4・20	河辺慶縁	恵信僧都「教行信証」と 教行信証の研究					
19 卷4号	大正3・4・20	可西大秀	導綽、善導「教行信証」と 教行信証の研究	理想 理想社	485号	昭和48・10・1	石田慶和	「教行信証」の哲学的考察 「行 卷」をめぐる
19 卷4号	大正3・4・20	和賀寛亮	天親、曇鸞「教行信証」と 教行信証の研究					
19 卷4号	大正3・4・20	磯部教誓	引かれたる諸経について「教行信証」と 教行信証の研究					
19 卷4号	大正3・4・20	金子大栄	研究「教行信証」の 教行信証の研究					
19 卷4号	大正3・4・20	住田智見	の沿革及び研究の用意に就いて 「教行信証」の	聞思 大谷大学真宗学会	6・7合併号	昭和29・	稲葉秀賢	教行信証に於ける行の概念
19 卷4号	大正3・4・20	山田文昭	御草本に就て「教行信証」の 教行信証の研究					
19 卷4号	大正3・4・20	佐々木月樵	ける「教行信証」の位置 述と其時代の教界					
19 卷4号	大正3・4・20	稲葉圓成	教行信証の研究「教行信証」撰 述と其時代の教界					
18 卷9号	大正2・9・5	（無記名）	「教行信証講義」の読者に 正誤及び補遺	理想 理想社	2号	昭和26・7・10	上杉思朗	「行卷」御引用の「十住毗婆沙論」 の文に就て
18 卷6号	大正2・6・5	住田智見	寛永本「信卷」の奥書に就いての 正誤及び補遺					
21 卷4号	大正5・4・1	山脇馨	顯浄土真実教文類					
20 卷11号	大正4・11・	山田文昭	晩年に於ける親鸞聖人の半面 寛永版教行信証奥書私考					



## 龍谷教学

龍谷教学会議

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
2号	昭和42・6・15	杉山義昭	信文類菩提心釈
2号	昭和42・6・15	泉覚性	行巻の標挙に就いて 御草稿本を中心
4号	昭和44・6・30	冷泉勝英	行文類における六字釈
10号	昭和50・6・30	信国精一	信巻ご引用の「涅槃経」の深旨 阿闍世王の獲信と現代
12号	昭和52・6・30	原田双栄	化巻菩薩戒経の引文について
15号	昭和55・6・30	藺慧龍	御本伝総序の文を仰いで
16号	昭和56・6・30	石田充之	「教行信証」御開題の意趣について

## 龍谷史壇

龍谷大学史学会

34号	昭和26・3・5	宮崎圓遵	「教行信証」に現はれた元仁元年の年紀について
39号	昭和30・6・25	小川貫弑	阪東本「教行信証」行巻の筆蹟

## 龍谷大学仏教文化研究所紀要

龍谷大学仏教文化研究所

13集	昭和49・6・30	北山覚	親鸞撰述における引用文の研究「教行信証」の引用文研究序説―文類考―
-----	-----------	-----	-----------------------------------

## 龍谷大学論集

百華苑

340号	昭和25・11・25	桐溪順忍	教行信証に於ける引用の態度
------	------------	------	---------------

## 龍谷大学論叢

龍谷大学論叢社

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
342号	昭和26・12・5	大原性実	教行信証撰述問題私見―内容より見たる本問題解決の示唆―
345号	昭和27・12・10	大江淳誠	「教行信証」信巻別撰説の批判―特に内容の方面より―
345号	昭和27・12・10	小川貫弑	阪東本教行信証の形態
348号	昭和29・12・20	加藤仏眼	浄土仏教の確立「顕浄土真実証文類」の地位
353号	昭和31・10・15	小川貫弑	恵信尼文書から見たる教行信証の撰述
362号	昭和34・5・20	大江淳誠	行信両巻の見方について 再び安井講師の所説に対する
365・366合併号	昭和35・12・16	瓜生津隆雄	教行信証と歎異抄
368号	昭和36・12・15	村上速水	教行信証引用の華嚴経梵文について
376号	昭和39・7・1	石田充之	「教行信証」の書かれてゐる立場
387号	昭和43・11・30	普賢晃寿	教行信証における「真仏弟子釈」の宗教思想史的意義
400・401合併号	昭和48・3・20	福原亮厳	法然浄土教と「教行信証」
414号	昭和54・5・10	石田慶和	「教行信証」反駁書に対する批判
417号	昭和55・10・30	岡亮二	「教行信証」論考「証巻」の根本問題 「行巻」行一念釈の一考察

249号	大正12・4・28	吉沢義則	教行信証の訓点は坂東語か
249号	大正12・4・28	中井玄道	教行信証註疏解題
258号	大正13・10・20	吉沢義則	本願寺本教行信証点注の筆者に就いて(上)



卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
--------	-----	-----	-----

259号	大正13・12・25	吉沢義則	本願寺本「教行信証」点注の筆者に就いて(下)
------	------------	------	------------------------

260号	大正14・3・15	中井玄道	「教行信証」破壊論に就いて(上)
------	-----------	------	------------------

261号	大正14・4・15	中井玄道	「教行信証」破壊論に就いて(下)
------	-----------	------	------------------

289号	昭和5・12・25	大江淳誠	本典の構成より見たる雁門終南吉水の三祖に対する親鸞聖人の態度
------	-----------	------	--------------------------------

302号	昭和7・6・25	雲山龍珠	本典大綱
------	----------	------	------

龍谷論叢

佐賀龍谷学会

創刊号	昭和28・9・25	森脇一掬	選択集と「教行信証」に関する一考察
-----	-----------	------	-------------------

倫理学年報

日本倫理学会

20集	昭和46・3・30	仁科弘	「教行信証」における信の意義
-----	-----------	-----	----------------

歴史地理

日本歴史地理学会

40巻2号	大正11・8・1	喜田貞吉	「教行信証」に関する疑問に就いて「親鸞聖人筆跡の研究」に關聯して(第一回)
-------	----------	------	---------------------------------------

40巻3号	大正11・9・1	喜田貞吉	「教行信証」に関する疑問に就いて「親鸞聖人筆跡の研究」に關聯して(第二回)
-------	----------	------	---------------------------------------

40巻5号	大正11・11・1	伊藤祐晃	喜田博士の「教行信証」の疑問を讀みて 法然門下の親鸞に及ぶ
-------	-----------	------	-------------------------------

41巻1号	大正12・1・1	喜田貞吉	親鸞聖人と「教行信証」に就いて 辻・本多両君の教示に答ふ
-------	----------	------	------------------------------

41巻2号	大正12・2・1	本田辰次郎	「教行信証」問題に就いて喜田博士の三難に答ふ
-------	----------	-------	------------------------

43巻1号	大正13・1・1	本多辰次郎	「教行信証」論帰結に就いての私見
-------	----------	-------	------------------

六条学報

壬寅会

卷数(号数)	年月日	著者名	論文名
--------	-----	-----	-----

52号	明治39・2・1	波多教英	本典研究余滴
-----	----------	------	--------

54号	明治39・4・1	波多教英	本典研究余滴
-----	----------	------	--------

56号	明治39・6・1	波多教英	本典の研究
-----	----------	------	-------

103号	明治43・5・1	羊歩生(禿氏羊歩)	「教行信証」延書に就いて
------	----------	-----------	--------------

114号	明治44・4・1	中井玄道	「教行信証」校訂改刻批議
------	----------	------	--------------

117号	明治44・7・1	鷺尾教導	「教行信証」伝授史考
------	----------	------	------------

124号	明治45・2・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考一
------	----------	------	-------------

125号	明治45・3・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考二
------	----------	------	-------------

127号	明治45・5・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考三
------	----------	------	-------------

128号	明治45・6・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考四
------	----------	------	-------------

129号	明治45・7・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考五
------	----------	------	-------------

130号	明治45・8・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考六
------	----------	------	-------------

132号	大正1・10・15	正福幻堂	「教行信証」校訂私考七
------	-----------	------	-------------

133号	大正1・11・5	正福幻堂	「教行信証」校訂私考八
------	----------	------	-------------

134号	大正1・12・10	鷺尾教導	「教行信証」文類」刊本沿革考
------	-----------	------	----------------

134号	大正1・12・10	正福幻堂	「教行信証」校訂私考九
------	-----------	------	-------------

135号	大正2・1・1	正福幻堂	「教行信証」校訂私考十
------	---------	------	-------------

巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
136号	大正2・1・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十一
137号	大正2・3・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十二
138号	大正2・4・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十三
139号	大正2・5・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十四
139号	大正2・5・10	鷺尾教導	安芸本本典開版者悟澄小伝
140号	大正2・6・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十五
141号	大正2・7・10	正福幻堂	教行信証校訂私考十六
146号	大正2・12・20	鷺尾教導	「教行証文類」及「同延書本」古写本伝考
149号	大正3・3・25	正福幻堂	教行信証校訂私考十七
150号	大正3・4・17	正福幻堂	教行信証校訂私考十八
151号	大正3・5・22	鷺尾教導	親鸞聖人引用の「末法灯明記」に就いて(冠頭写真版参考)
159号	大正4・1・10	清原秀恵	高祖は何故に「本典」中「法華経」を引用したまはざりしか(承前)
160号	大正4・2・10	清原秀恵	高祖は何故に「本典」中「法華経」を引用したまはざりしか(承前)
166号	大正4・8・10	中井玄道	天保以後の教行信証刻本に就きて
178号	大正5・8・10	無方学人	西谷順誓師述「教行信証講話」を讀みて
181号	大正5・10・10	井口龍猛	本典研究大綱篇
183号	大正6・1・10	井口龍猛	本典研究大綱篇(承前)
184号	大正6・2・15	妻木直良	本典の製作年代を論じて古版四種の底本に及ぶ(上)
185号	大正6・3・10	妻木直良	本典の製作年代を論じて古版四種の底本に及ぶ(下)
巻数(号数)	年月日	著者名	論文名
185号	大正6・3・10	井口龍猛	本典研究大綱篇(承前)
187号	大正6・5・10	中井玄道	教行信証引文の体例(其一)
188号	大正6・5・15	中井玄道	教行信証引文の体例(其二)
189号	大正6・7・15	中井玄道	教行信証引文の体例(其三)
191号	大正6・9・10	中井玄道	教行信証引文の体例(其四)
193号	大正6・11・10	中井玄道	教行信証引文の体例(其五)
200号	大正7・6・10	杉紫朗	教行信証大意
203号	大正7・10・10	源哲勝	論 教行信証に現はれたる十住毗婆娑論
205号	大正7・12・10	玉置韜晃	教行信証に現はれたる本願薬師経
206号	大正8・1・10	鈴木法琛	教行信証に現れたる安樂集
207号	大正8・2・10	蘭田宗恵	教行信証に現はれたる涅槃経(上)
208号	大正8・3・10	豊水楽勝	教行信証に現れたる選択集
209号	大正8・4・10	梅原真隆	教行信証に現れたる末法灯明記
210号	大正8・5・10	中井玄道	教行信証の異本(上)
211号	大正8・6・10	蘭田宗恵	教行信証に現れたる涅槃経(下)
211号	大正8・6・10	鷺尾教導	論語と嵯峨三位
211号	大正8・6・10	中井玄道	教行信証の異本(下)
216号	大正8・11・10	湯次了栄	本典所引の華嚴経
219号	大正9・2・10	杉紫朗	教行信証に現はれたる観経

卷数(号数)	年 月 日	著 者 名	論 文 名
220号	大正9・3・30	梅原真隆	教行信証に現はれたる浄土文跋
233号	大正10・4・10	河上正雄	教行信証に現はれたる往生要集
233号	大正10・4・10	大江淳誠	本典に於ける行巻の地位
235号	大正10・6・10	菅原真成	教行信証にあらはれたる戒度の著書 正観記・扶新論及び聞持記
235号	大正10・6・10	鷲尾教導	「教行信証」校訂本を読む
236号	大正10・7・10	川尻宏済	教行信証に現はれたる四帖疏(上)
238号	大正10・9・10	小山法成	本典に顕れたる論・論註
239号	大正10・10・10	川尻宏済	教行信証に現はれたる四帖疏(下)